テープコーダー

361 型

御取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

このたびは**テープコーダー**をお買上げくださいまして誠にありがとうございます。機械の調子は如何でございましょうか？

ソニー　テープコーダーは

わが国でいちばん早く作られた

わが国でいちばん歴史の古い

わが国でいちばん生産数の多い

わが国でいちばん性能のよい

テープレコーダーで，完全なアフターサービスとならんで，次のように数多くのすぐれた特長をもっております。なにとぞソニテープとともに，いつまでもご愛用賜わりますようお願い申しあげます。

テープコーダー 361 型の特長

1. **テープ速度**　テープ速度切換つまみをまわすだけで 7½ インチ及び 3¾ インチの 2 速度の両方に使用できます。
2. **モーター**　四極同期電動機を使っておりますので電源電圧が多少変動しても回転数には影響なく，テープ速度はいつも正確です。
3. **単一操作**　シングルコントロール方式を採用いたしましたので，つまみをまわすだけで次のように操作できます。

　　停止→録音　停止→再生

　　停止→巻戻　停止→早送り（再生中の早送りも可能）

　録音の場合に再生状態を通らなくてすみます。

4. **急停止**　完全なブレーキがついておりますから，テープは瞬時に停止します。フットスイッチを取りつけて使うこともできます。
5. **テープの装着容易**　ヘッドカバーを改良しましたのでテープが楽にかけられます。
6. **テープタイマー**　テープが走るにつれて自動車のメーターのように数字が変りますから数字と録音内容とを記録しておきますと聞きたい録音個所をいっぺんで探しだすことができます。
7. **特性向上**　大型のフライホイールを使っておりますから，ワウ及びフラッターは非常にすくなく，また機構部の部品はすべて基板上に取りつけられておりますので点検及び保守が非常に便利になりました。
8. **複合管の使用**　新型の複合管を使用しましたので，すくない球数で同等以上の性能を得ております。
9. 増幅部と電源部とシャーシーを別に分け，増幅部を側面に電源部を基板裏に取りつけましたので，増幅部を点検する際セットを横に倒さなくてすみます。
10. マジックアイが前面についておりますから非常に見やすく，また音量・音質の調整つまみや入力・出力のジャックも前面にありますから操作が容易です。
11. 停止中でも録音ボタンを押すと増幅器だけ動作してレベル調整をすることができます。
12. スピーカースイッチを切り換えることにより録音中でもスピーカーでモニターすることができます。レシーバーでモニターすることももちろん可能です。
13. 録音時には，テープ速度の切換とともに音質補償回路が自動的に切り換えられ，テープ速度に応じた最適な等化特性が得られます。

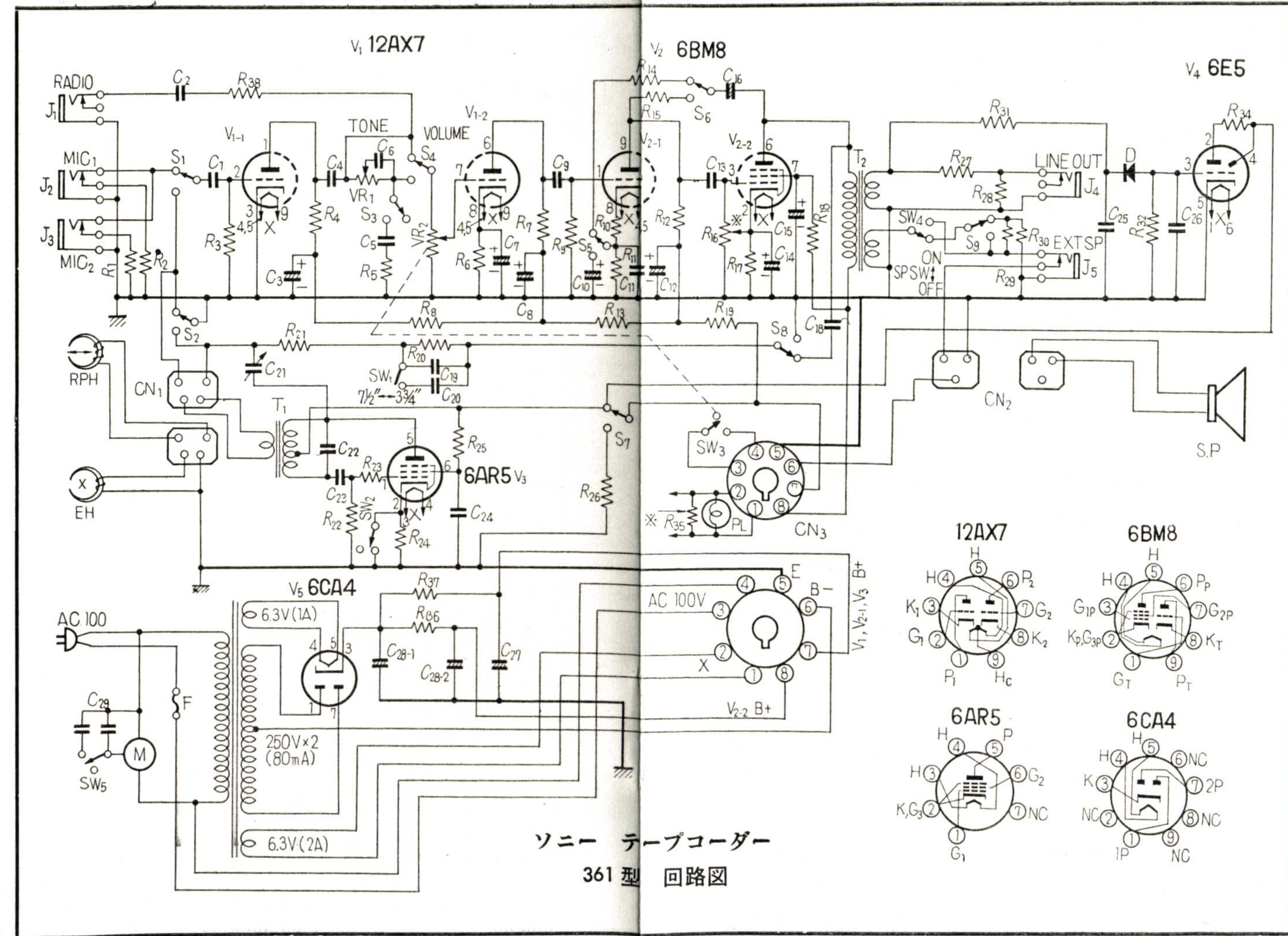
　再生時には音質調整つまみによりお好きな音質で聞くことができます。

14. 特許第 136997 号による交流バイアス方式を使っておりますから，音質がよく，雑音のすくない録音ができます。

定　数　表

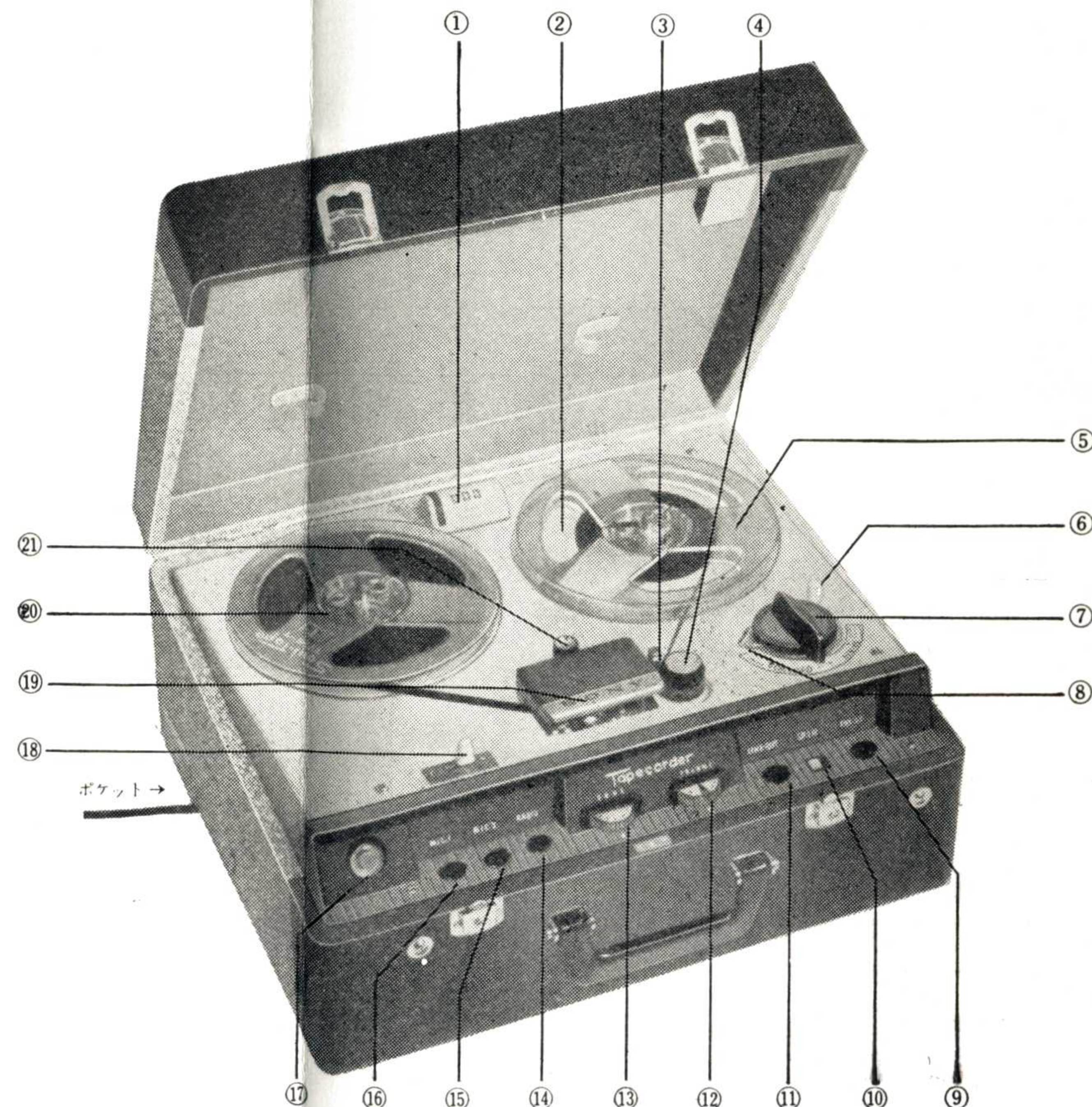
記号	名称	規格	記号	名称	規格
V_1	真空管	12AX7	SW_4	スピーカースイッチ	小型二極双投
V_2	〃	6BM8	SW_5	コンデンサー切換スイッチ	単極双投
V_3	〃	6AR5	D	ダイオード	1T22
V_4	〃	6E5	CN_3	電源ソケットコネクター	US ウエハーソケットプラグ
V_5	〃	6CA4			
R.P.H	録音再生ヘッド	PB—3	VR-1	音質調整	250kΩ B型
E.H	消去ヘッド	EF—3	VR-2	音量調整	500kΩ A型S付
J_1	高レベル入力ジャック	A型ジャック	R_1	固定カーボン抵抗器	10kΩ ¼W
J_2	低レベル入力ジャック	〃	R_2	〃	10kΩ 〃
J_3	〃	〃	R_3	〃	5MΩ 〃
J_4	線路出力ジャック	〃	R_4	〃	ノイズレス 250kΩ 〃
J_5	外部スピーカージャック	〃	R_5	〃	5kΩ 〃
T_1	発振変成器		R_6	〃	1.5kΩ 〃
T_2	出力変成器	5.6kΩ：8Ω, 600Ω	R_7	〃	ノイズレス 100kΩ 〃
T_3	電源変圧器	250V×2 80mA 6.3V1A 6.3V2A	R_8	〃	30kΩ 〃
S.P	スピーカー	5″×7″ 楕円	R_9	〃	500kΩ 〃
M	モーター	HC—134	R_{10}	〃	1kΩ 〃
F	ヒューズ	1A ガラス管入	R_{11}	〃	3kΩ 〃
P.L	パイロットランプ	6〜8V	R_{12}	〃	ノイズレス 100kΩ 〃
CN_1	ヘッドコネクター	簡易4極コネクター	R_{13}	〃	30kΩ 〃
CN_2	スピーカーコネクター	簡易左3極コネクター	R_{14}	〃	40kΩ 〃
S_1〜S_9	録音再生切換スイッチ	連動平板転換器	R_{15}	〃	1MΩ 〃
SW_1	録音補償切換スイッチ		R_{16}	〃	500kΩ 〃
SW_2	録音スイッチ	発振回路	R_{17}	〃	400Ω 2W
SW_3	電源スイッチ	ボリューム連動	R_{18}	〃	2kΩ ½W

記号	名称	規格	記号	名称	規格
R_{19}	固定カーボン抵抗器	10kΩ ½W	C_6	マイカコンデンサー	700PF 1000V,DC
R_{20}	〃	220kΩ ¼W	C_7	ケミカルコンデンサー	25μF 25WV
R_{21}	〃	100kΩ 〃	C_8	〃	8μF 350WV
R_{22}	〃	50kΩ 〃	C_9	チューブラーコンデンサー	0.05μF 400WV
R_{23}	〃	3kΩ 〃	C_{10}	ケミカルコンデンサー	25μF 25WV
R_{24}	〃	10kΩ ½W	C_{11}	チューブラーコンデンサー	0.008μF 400WV
R_{25}	〃	5kΩ 〃	C_{12}	ケミカルコンデンサー	2μF 350WV
R_{26}	固定ホーロー抵抗器	10kΩ 30W	C_{13}	チューブラーコンデンサー	0.05μF 400WV
R_{27}	固定カーボン抵抗器	8kΩ ¼W	C_{14}	ケミカルコンデンサー	25μF 25WV
R_{28}	〃	600Ω 〃	C_{15}	〃	2μF 350WV
R_{29}	〃	1kΩ ½W	C_{16}	〃	3μF 〃
R_{30}	固定ホーロー抵抗器	8Ω 3W	C_{17}		
R_{31}	半固定抵抗器	15kΩ	C_{18}	チューブラーコンデンサー	0.1μF 350WV
R_{32}	固定カーボン抵抗器	250kΩ 〃	C_{19}	マイカコンデンサー	150PF 1000V,DC
R_{33}			C_{20}	〃	300PF 〃
R_{34}	固定カーボン抵抗器	1MΩ 〃	C_{21}	トリーマーコンデンサー	200PF 可変
R_{35}	ハムバランサー	半固定 100Ω 3W	C_{22}	チューブラーコンデンサー	0.0025μF 400WV
R_{36}	固定ホーロー抵抗器	2kΩ 20W	C_{23}	〃	0.001μF 〃
R_{37}	固定カーボン抵抗器	1kΩ 3W	C_{24}	〃	0.1μF 〃
R_{38}	〃	100kΩ ¼W	C_{25}	〃	0.01μF 〃
C_1	チューブラーコンデンサー	0.1μF 400WV	C_{26}	MP コンデンサー	1μF 250WV
C_2	〃	0.05μF 〃	C_{27}	ケミカルコンデンサー	10μF 350WV
C_3	ケミカルコンデンサー	8μF 350WV	C_{28}	〃	40+40μF 350WV
C_4	チューブラーコンデンサー	0.05μF 400WV	C_{29}	MP コンデンサー	1.5+0.5μF AC 300WV
C_5	〃	0.015μF 400WV	※ チューブラーコンデンサーは全部オイルチューブラー		

ソニー　テープコーダー
361型　回路図

ソニー　テープコーダー 361 型各部の位置

各部の名称

① テープタイマー
② 巻取りリール
③ キャプスタン
④ ピンチローラー
⑤ モーター切換スイッチ
⑥ 録音安全ボタン
⑦ 切換器つまみ
⑧ 早送りレバー
⑨ EXT. SP. ジャック
⑩ スピーカースイッチ
⑪ LINE OUT ジャック
⑫ 音量調整つまみ *
⑬ 音質調整つまみ
⑭ RADIO ジャック
⑮ MIC-2 ジャック
⑯ MIC-1 ジャック
⑰ マジックアイ
⑱ 急停止レバー
⑲ ヘッドカバー
⑳ 巻戻しリール
㉑ テープ速度切換つまみ

* 電源スイッチ兼用

規　　格

外形寸法	間口 430×高さ 200×奥行 380（mm）
重量	約 14kg（付属品を含む）
電源	交流 50 及び 60 サイクル（キャプスタン及びピンチローラーを交換して切り換える） 100 ボルト（85 乃至 105 ボルトで使えます）
消費電力	約 90 VA
テープ速度	毎秒 7½ インチ及び 3¾ インチの 2 種（つまみにより切り換えられる）
ワウ及びフラッター	0.3 % 以下
使用真空管	12AX7(1), 6BM8(1), 6AR5(1), 6CA4(1)
出力	最大 2.5 ワット
線路出力	0 デシベル以上（600 オーム負荷）
周波数特性	7½ インチのとき 50〜10,000 サイクル 3¾ インチのとき 50〜7,000 サイクル
録音可能時間	7½ インチのとき　片側 30 分ずつ 計 1 時間 3¾ インチのとき　片側 60 分ずつ 計 2 時間
リール	最大直径 7 インチまで
録音方式	半幅録音
入力ジャック	マイク (2), ラジオ (1)

付　　属　　品

マイクロホン	ソニー F3-B ダイナミック型（コード 3 m, 簡易スタンドつき）	1
録音用テープ	ソニテープ PY-7	1
テープ用巻枠	ソニリール R-7	1
ラジオコード	ラジオ録音及び出力用コード	1
キャプスタン及びピンチローラー	50c/s 用及び 60c/s 用（1 組はテープコーダーに取りつけずみ）	各 1 組
接着テープ		1

お買上げ賜わりましたテープコーダーには下に掲げた 2 種のカードのどちらがついておりますでしょうか？

50 サイクル用　　60 サイクル用

テープコーダーを電灯線につなぐ前に，テープコーダーの周波数と電灯線の周波数と「サイクル」が合っているかどうかを確かめてください。合っているときは，そのまま，すぐにお使いになれます。もし，違う場合は，本書の 26 頁にしたがって直してからお使いください。電灯線の周波数は電力会社にお尋ねくだされば判ります。

テープコーダー 361 型付属品

① ソニー・ダイナミック・マイクロホン F-3B 型　② ソニー接着テープ　③ ソニテープ PW-7　④ マイクロホン・カバー　⑤ ポリエチレン袋　⑥ ソニー・リール R-7　⑦ キャプスタン　⑧ ピンチローラー　⑨ ラジオコード

録音をするには

準　　備

（1） まず上蓋を取りはずし，ついで左側面のポケットより電源コードを引きだして電灯線（交流 100 ボルト 50 または 60 サイクル）につなぎます。

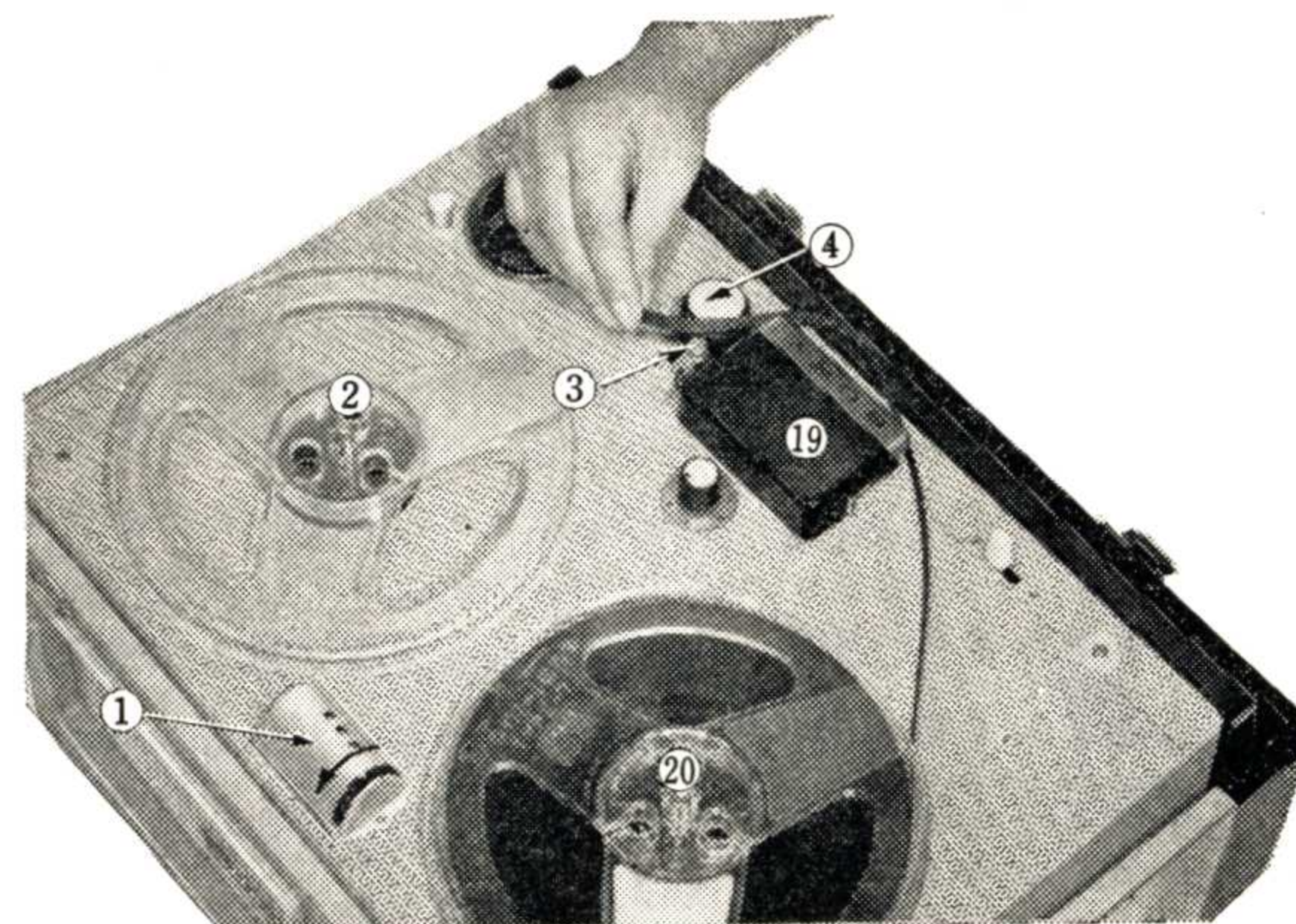
（2） ⑫の音量調整つまみを時計方向にまわすと「パチッ」と軽い音がして電源スイッチが入り，飾りパネルの内側にパイロットランプがつきます。

マイクをつなぐ

（3） マイクロホンを取りだし，コードのさきのプラグを⑯の「MIC-1」あるいは⑮の「MIC-2」のジャックにさしこみます。マイクロホンを 2 コ同時に使いたいときは⑯と⑮の両方にさしこんでください。マイクロホンの感度を別々に調節したいとき，またはマイクロホンを 3 コ以上使いたいときは，ソニー・マイクロホン・ミキサーをお使いになるとご便利です。

プラグのさしこみ方が不十分ですと録音できない場合がありますからご注意ください。また，マイクロホンのコードが短いときはマイク延長コードをご利用ください。

テープをかける

（4） 左側の巻戻しリール軸に録音テープ⑳を，右側の巻取りリール軸に空リール②を取りつけますが，それにはリールの中心の孔をリール軸にはめてから左右にすこし動かしますと，リールの切欠きにリール軸の根もとの凸起がはまり，ぴったり固定します。

（5） テープのはしをつまんで 50 センチほど引きだしたら，まずヘッドカバー⑲の下を通し，ついでキャプスタン③とピンチローラー④の間を通してから，右側の空リール②に巻きつけます。

ご注意：テープは磁性体を塗った側（つやのないほう）がヘッド面に向かなければなりません。

テープタイマーの使いかた

（6） テープコーダー 361 型にはテープタイマーが付属しております。テープをかけて録音を始める場合には，テープタイマー①のつまみを矢印（写真参照）の方向にまわして，窓にあらわれる数字を「000」にしてください。録音を始めますとテープが走るにつれて数字が 001，002，…… と変りますから録音の内容とそのときのテープタイマーの数字とを記録しておきますと，再生の場合に，聞きたい内容の録音されている場所を早送り操作で迅速に見出すことができます。

テープタイマーの窓の数字を「000」に合わせ，つまみから手を離しますと，せっかく正しく合わせた「000」がずれて窓にほかの数字が現れることがありますが，これは録音または再生に切り換えてテープが走り始めれば正しい位置に戻りますから，もういちど合わせ直す必要はございません。

テープ速度の切換え

(7) ヘッドカバーの後方，中央部にある速度切換えつまみ㉑を下に押しさげて，7½ と記したほうへ右向きにまわせば，テープ速度は毎秒7½ インチとなり，3¾ と記したほうへ左向きにまわせば，テープ速度は毎秒3¾ インチとなり，同時に録音の音質調整回路はテープ速度に適したように切り換えられます。

(8) どちらのテープ速度を選ぶべきかは次の特長・欠点によりおきめください。

テープ速度	7½ インチ	3¾ インチ
特長	音質がよい	録音できる時間が長い
欠点	録音できる時間が短い	音質がやや劣る
適当な例	音楽	講演
録音可能時間	7インチ・リール 片側 30 分 5インチ・リール 片側 15 分	7インチ・リール 片側 60 分 5インチ・リール 片側 30 分

ご注意：速度切換えつまみ㉑は，切換器つまみ⑦を「STOP」においたとき以外は，まわさないでください。テープを走らせているときにまわしますと，テープ駆動機構を駄目にするおそれがあります。

レベルの調整

マイクに音が入らないときか音量調整つまみを絞ったときは影は90度開く

いちばん大きい音のときに影はほとんど閉じる

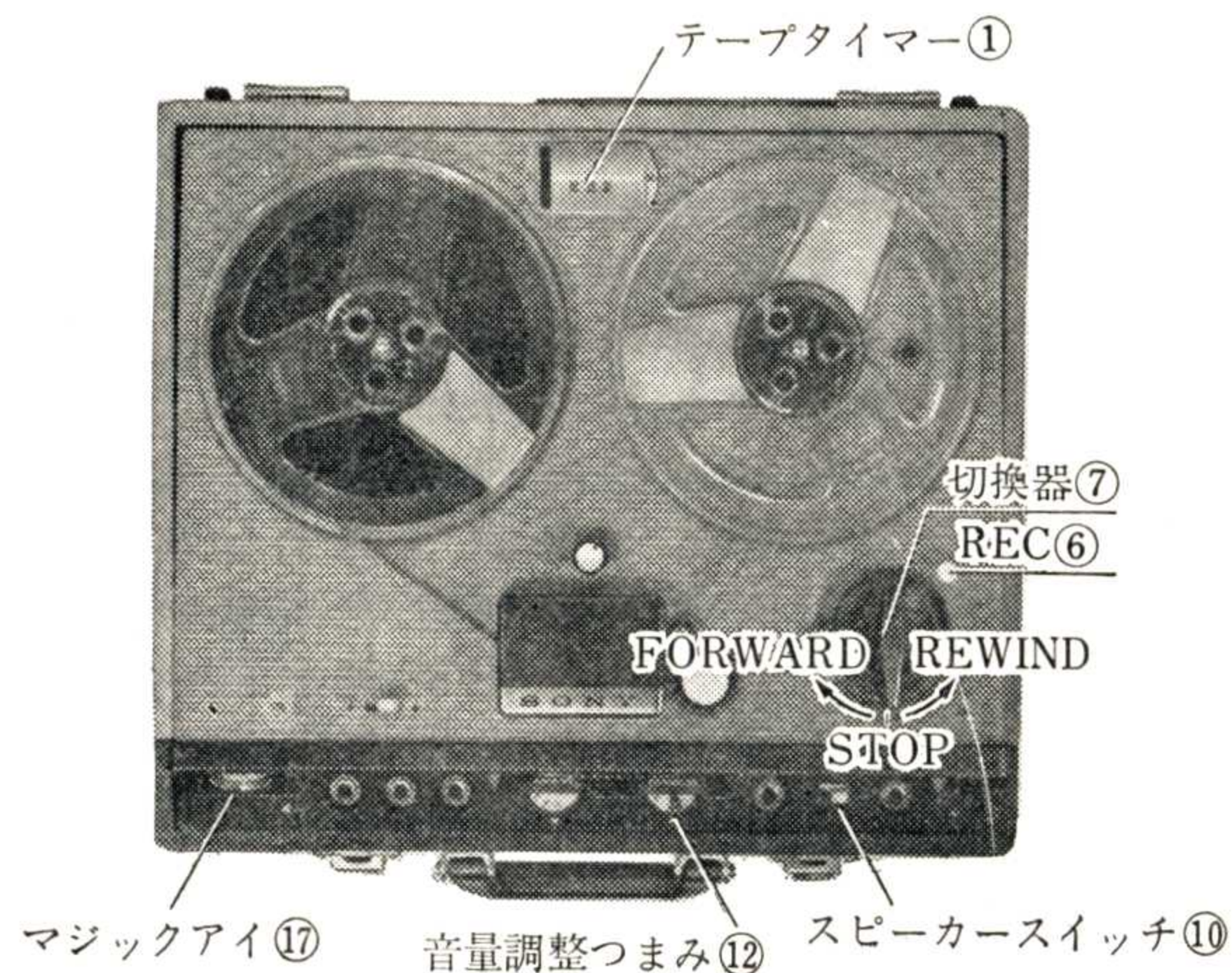
(9) 「REC」と記された録音安全ボタン⑥を押しますと，マジックアイ⑰が緑色に輝きます。マイクロホンに向って声を出しながら音量調整つまみ⑫を時計方向にまわしてゆきますと，マジックアイの扇形をした影のふちが動きます。いちばん大きい音のときに影が全部閉じる程度が適当なつまみの位置です。

音量調整つまみ⑫をまわしすぎますと，音がひずみ，良い録音ができません。「小さく録音して大きく再生する」のが上手な録音のコツといえます。

モニター

(10) レベル調整あるいは録音中に，マイクロホンに入ってくる音の様子を聞いて，録音の仕上り状態を監視することを「モニター」といいます。モニターの方法には，(1) 受話器で聞く，(2) テープコーダーのスピーカーで聞く，2通りがあります。

(11) 受話器でモニターするには，両耳受話器（4000 オームぐらいのもの）またはクリスタル・イヤホンを EXT. SP. ジャック⑨にさしこみ，スピーカー・スイッチ⑩を忘れずに「OFF」にします（つまみを左に寄せる)。**もし「ON」になっていると音が歪んで録音されますからご注意ください。**

(12) テープコーダーのスピーカーでモニターするには，スピ

ーカー・スイッチ⑩を「ON」にすればよい（つまみを右に寄せる）のですが，マイクロホンとテープコーダーを同じ部屋で，しかも近くにおいて録音するときは，ハウリングが起きて録音できませんからご注意ください（そのような場合は必ず受話器をお使いください）。

スピーカーを使ってモニターするのがご便利な場合は次のとおりです。

1. マイクロホンとテープコーダーを別の部屋において録音する場合（テープコーダーのそばにいながらマイクロホンのおいてある部屋の様子をスピーカーを通じて聞きながら録音を進めることができます）。
2. スピーカーがついていないレコードプレーヤーやラジオチューナーなどから録音する場合（そのままでは音を聞くことができませんので，テープコーダーのスピーカーを働かせて聞きながら録音すると非常にやりよいです）。

3. テープの複写をする場合（15頁参照）。

ご注意：いずれの場合でも録音中にスピーカー・スイッチ⑩を動かしてはいけません。録音中にスピーカー・スイッチを切り換えますと，その瞬間に雑音が録音されたり，録音の大きさが変ったりすることがあります。なおテープモニターについては（15）をご覧ください。

録　音

（13） 録音安全ボタン⑥を十分深く押しつけたまま切換器つまみ⑦を右へ「FORWARD」までまわしますと，テープは走りだし，録音ができます。

停　止

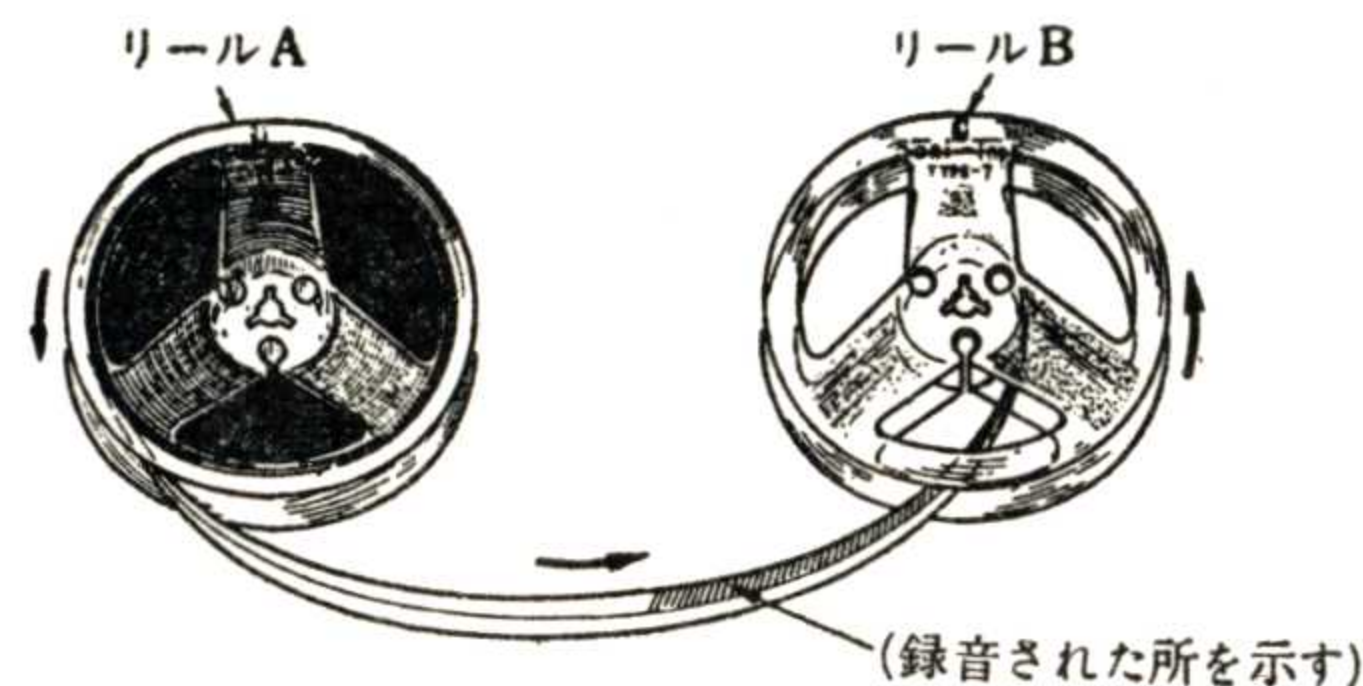
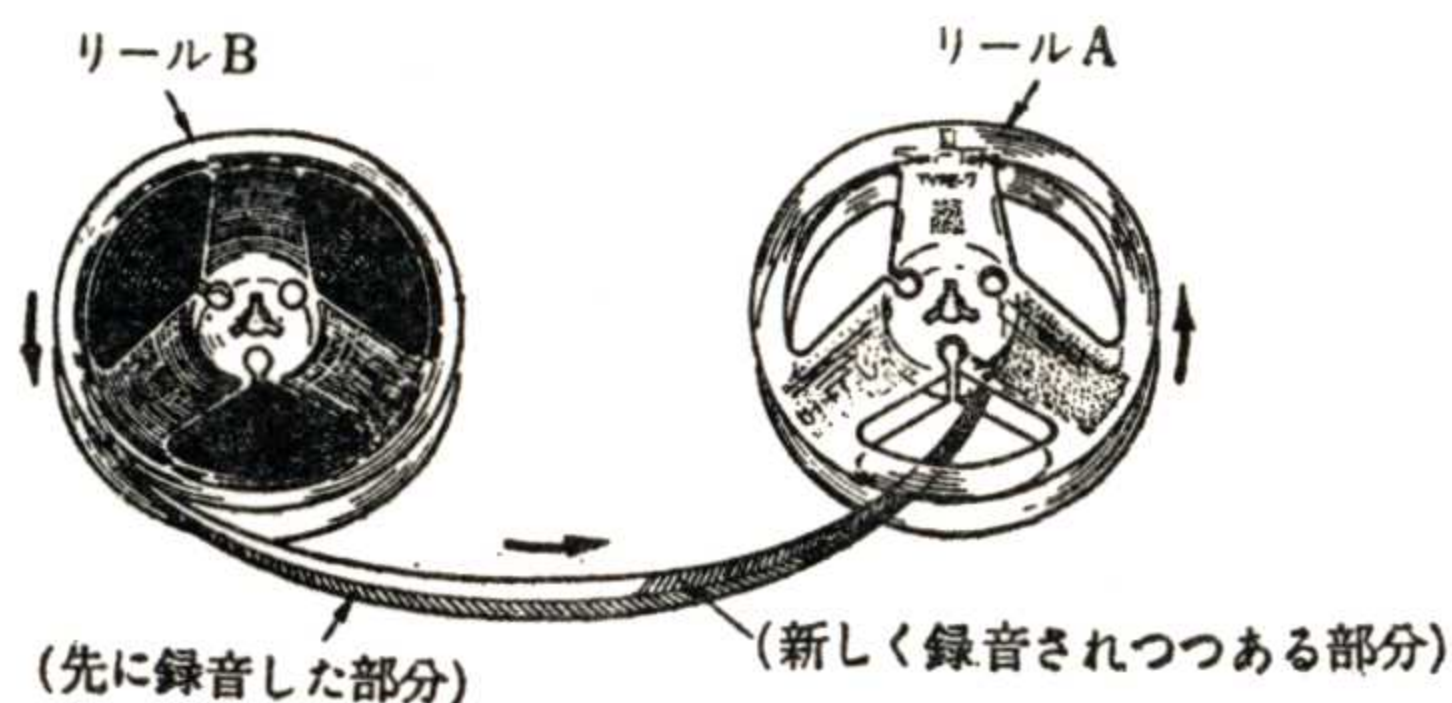
（14） 録音を止めたいときは，切換器つまみ⑦を左へ「STOP」まで戻しますと，テープは止り，マジックアイも消えます。

テープモニター

（15） テープコーダー361型は，録音中の音を同時にスピーカーまたは受話器で聞くことができますが，この方式では，確かにそのテープに録音されているかどうかを確認することはできません。放送局などでは，録音されたテープを，すぐ，別の再生ヘッドに通して，その再生音をモニターしております。ソニー　トランジスタ　テープモニターは，テープコーダーに取りつけて，録音のすんだテープを次々と再生聴取するもので，重要な録音を行う場合などに極めて重宝なセットです。（一式 ￥12,500）

半幅録音について

(16) 本機は半幅録音方式ですから，1巻のテープを終りまで録音したときは，右の空リールに巻きとられたテープをリールとともに取りはずし，リールごと裏返しにして左側の巻戻しリール軸にはめかえ，同時にいままで左側にはまっていた空になったリールを右側の巻取り軸に移しますと前に録音を始めたときと同じ操作で更に録音を続けることができます。

半幅録音方式とは，テープを上半分と下半分とに分けて，

最初（往路）の録音が行われている所

二度目（復路）の録音が行われている所

上下で別の録音ができるものです。つまり，未録音テープに始めて録音しますと，テープの上側の半分にまず録音され，つぎにテープの走る向きを逆にして更に録音しますと，前に録音されなかった下側の半分に録音されますので，テープは2倍の長さに使えることになります。

録音してあるテープに録音するときの注意

(17) 既に録音してあるテープに新たに録音をすれば，前の録音は自動的に消去されて新しい録音だけがテープの上に残ります。しかし，このように前に入っている録音を消去しながら録音するとき，ときどき「STOP」にして録音を中断いたしますと，そこだけ前の録音が消去されないで残りますので，あとで連続再生いたしますと，残った古い録音が再生されて聞きにくいことがあります。このような場合は，前の録音をあらかじめ全部消去してから録音いたしますと，そういった失敗がありません。

(18) 消去したいテープをテープコーダーにかけ，音量調整つまみを音量最小の位置においたまま録音状態でテープを走らせれば，録音は全部消去できます。この場合は，お使いになるときのテープ速度が3¾インチでも，7½インチで行ってください。そのほうが短い時間ですみます。ただし，早送りで消去してはいけません。あとに雑音が残ります。また，音量調整つまみが最小の位置でありませんと，やはり，雑音が残りますから，ご注意ください。

1巻のテープを極めて短時間に消去するには「ソニーテープ消磁器」をご利用願います。

ラジオやレコードプレーヤーから録音するには

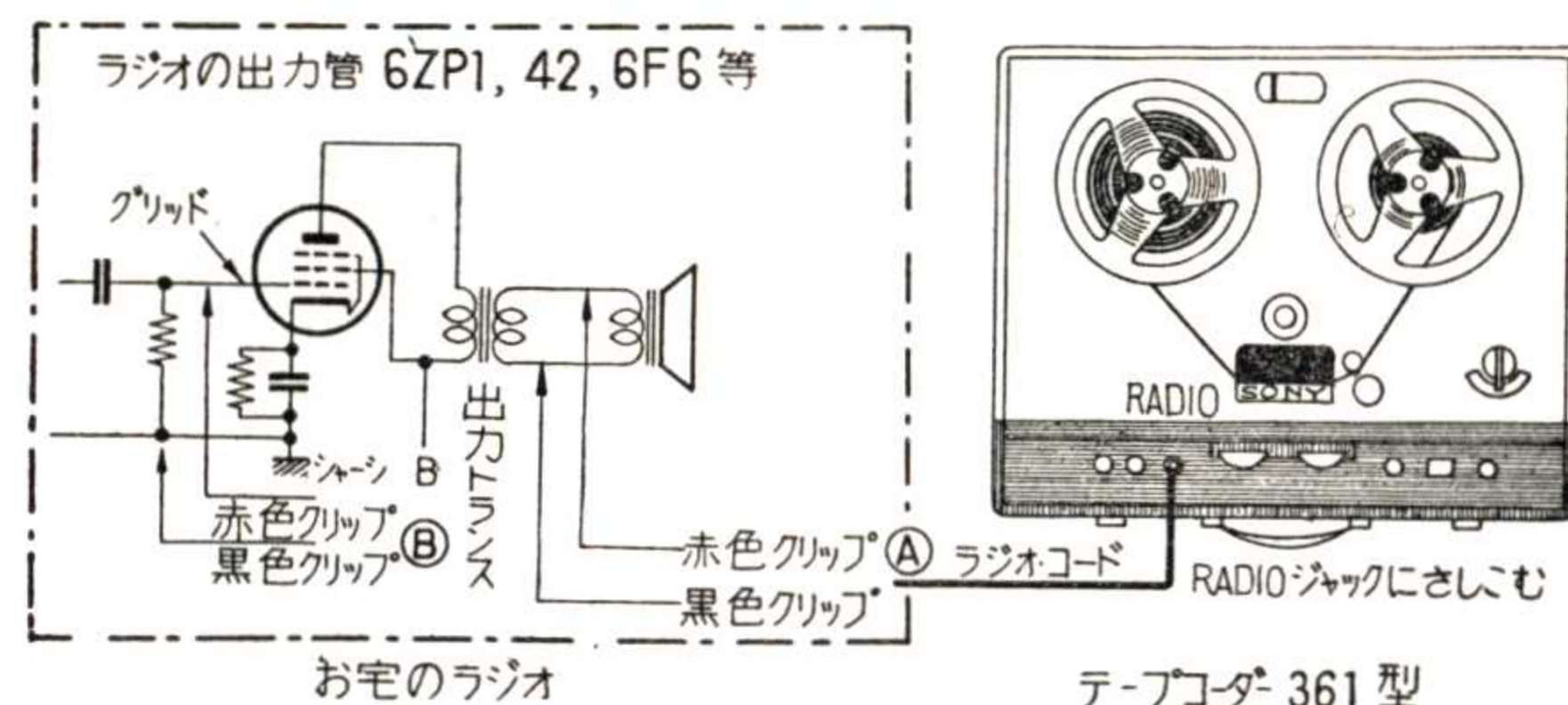
(19) ラジオを録音するには，スピーカーから音を出してマイクロホンでとるより，付属のラジオコードを使って電気のまま とるほうが，よい録音ができます。その方法は次のとおりです。

(イ) ラジオコードのプラグを RADIO ジャックにさしこんでください。

(ロ) ラジオコードのクリップを下図のようにダイナミックスピーカーのムービングコイルか検波管の出力回路につないでください。この場合，黒色クリップは必ずアース側につながなければなりません。

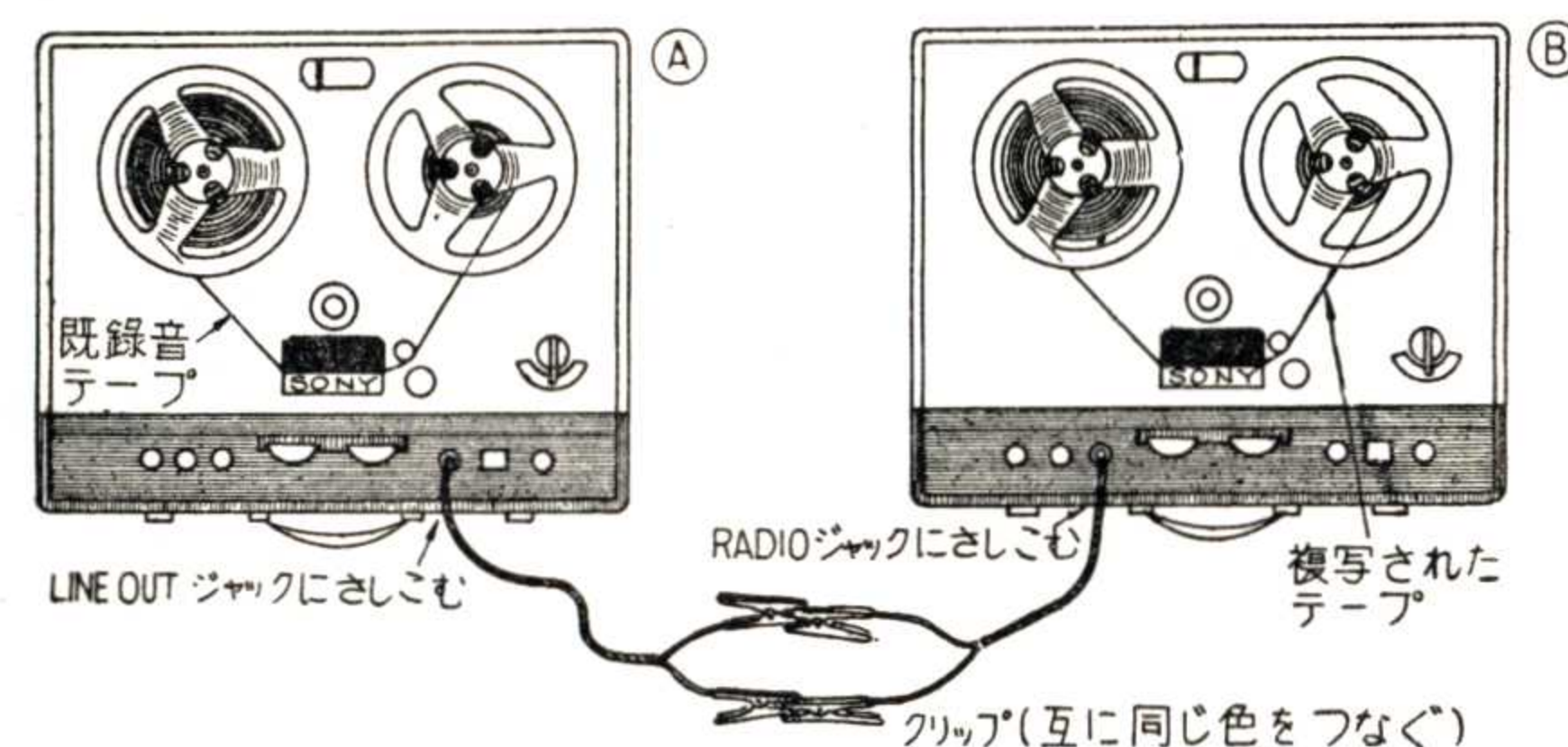
(20) レコードプレーヤーから録音するときも，同じようにラジオコードを使って，ピックアップの出力を RADIO ジャックに入れればよろしいです。この場合はピックアップからのシールド線の外皮（アース側）を黒色クリップで挾みます。

(21) ラジオコードへは 0.1〜5.0 ボルトぐらいの電圧を与え，テープコーダーの音量調整つまみで適当な録音ができるよう

お宅のラジオ　　テープコーダー 361 型

に加減してください。

(22) ラジオやレコードプレーヤーへつなぎますと，時としてハムがふえたりいたしますが，そのような場合や，つなぎ方がお判りにならない場合は，お買上げ店あるいはソニー連盟店にご相談ください。

既録音テープから複写（再録音）するには

(23) テープコーダーを別にもう1台用意し，下図のように接続してください。即ち複写したい既録音テープをかける再生機には「LINE OUT」ジャックに，また，これから録音する未録音テープをかける録音機には「RADIO」ジャックに，それぞれ付属のラジオコードのプラグをさしこみ，互いに同じ色同志クリップをつないでください。この場合，再生機の方は音がひずまない範囲でなるべく音量調整つまみをあげ，録音機の方で適当なレベルに絞るほうがよろしいと思います。

Ⓐ既録音テープの再生用テープコーダー
Ⓑ録音に使用する361型テープコーダー

再生して聞くには

（1） いま，録音したものを再生して聞きたいときは，まず，テープを巻き戻さなければなりません。切換器つまみ⑦を「STOP」から左へ「REWIND」にまわしますと，テープは右側の巻取りリールから左側の巻戻しリールへ急速に巻き戻されますから，再生して聞きたいところまで巻き戻されたら，つまみ⑦を「STOP」に戻してテープを止めます。

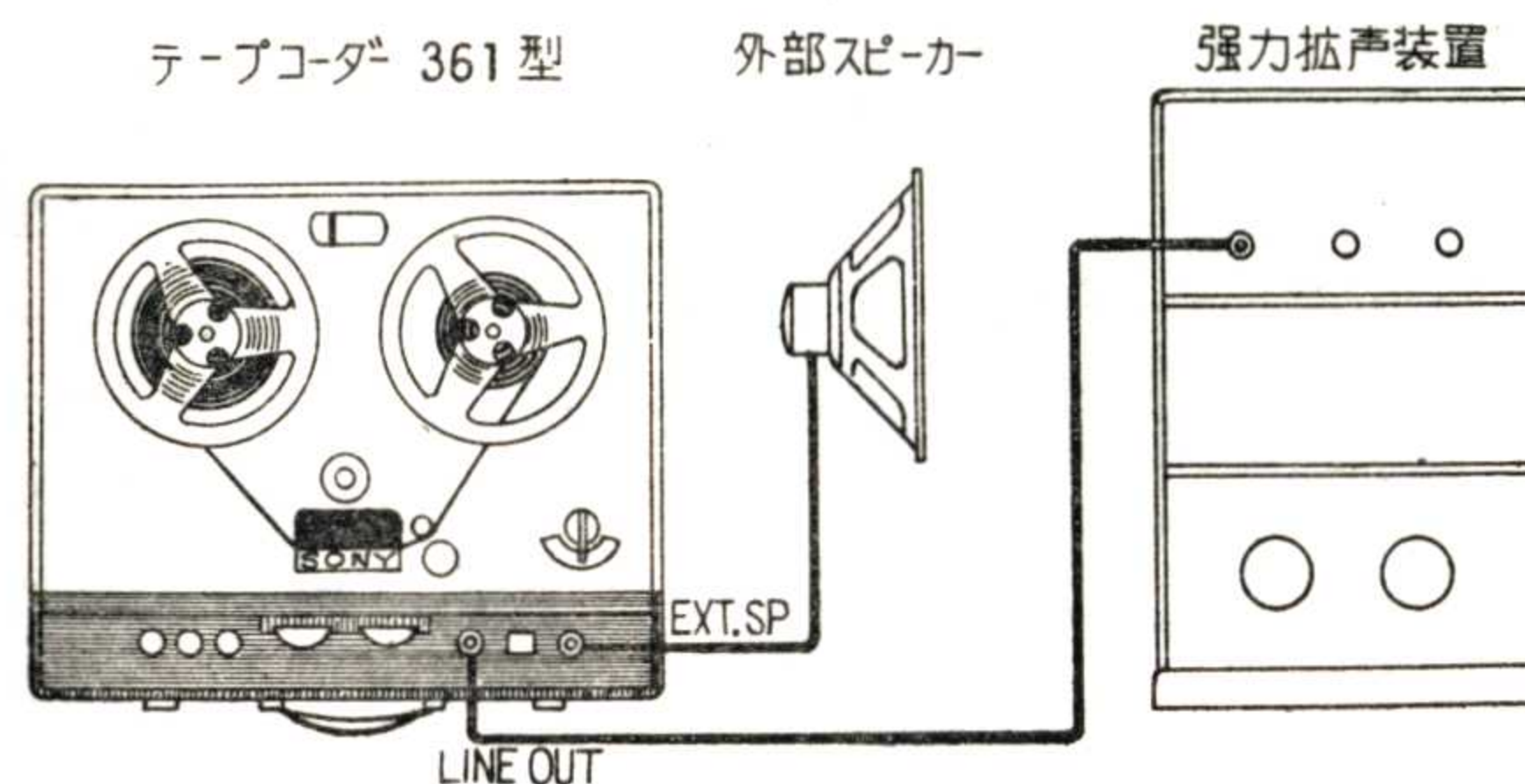
（2） 以前に録音したテープを再生したいときは，録音時のテープ装着の場合と同様に，再生したいテープのリールを左側のリール軸にはめてテープをかけます。

（3） 録音安全ボタン⑥を押さないで，切換器つまみ⑦を「FORWARD」にまわしますと，テープが走りだすとともに，スピーカーから再生音が流れでます。音量は音量調整つまみ⑫により適当に加減してください。

ご注意：うっかり押しぼたん⑥を押して切換器つまみ⑦を「FORWARD」にまわしますと，たいせつな録音が消えてしまいますから，ご注意ください。

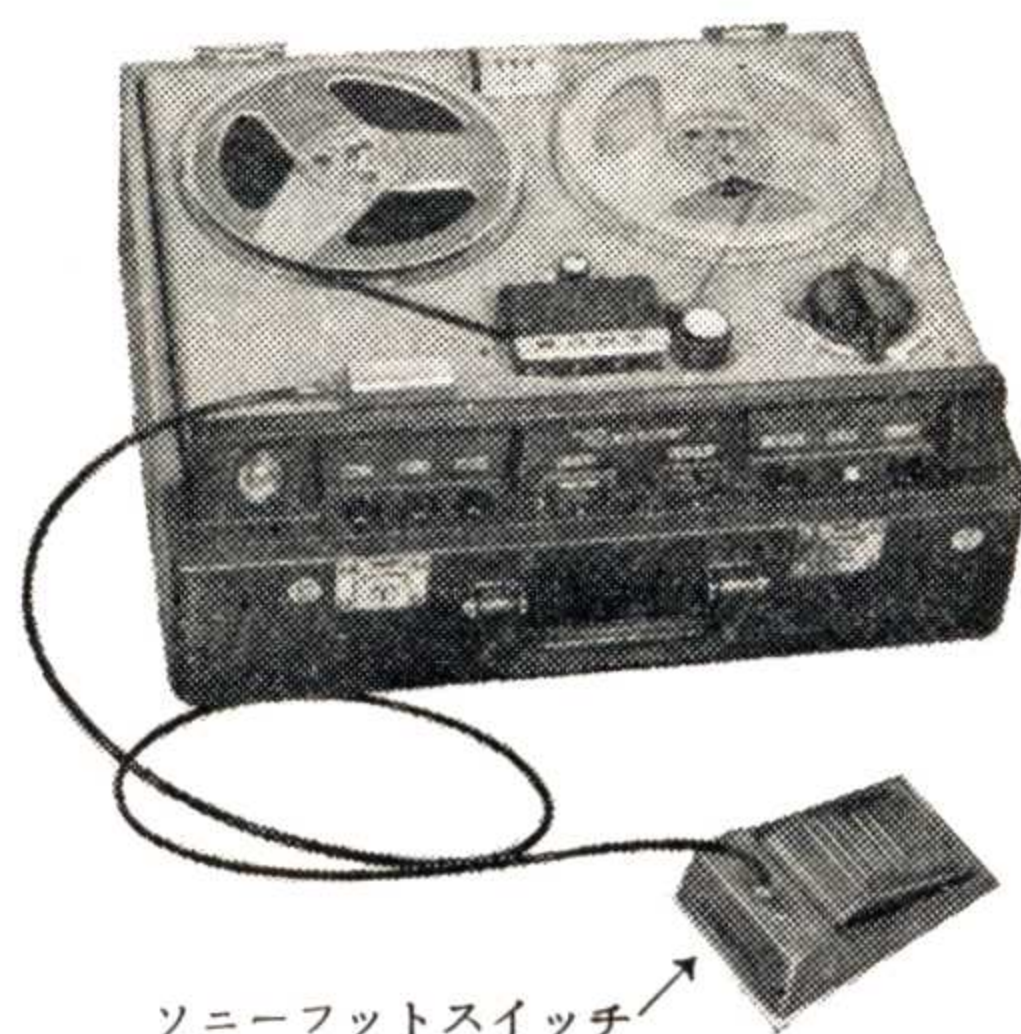
（4） 音質調整つまみ⑬をまわしますと再生音の音質を変えることができます。時計方向にまわすほど高音部が，また反時計方向にまわすほど低音部が強調されます。音質調整つまみは，再生のときだけ働き，録音のときには切れます。

別のスピーカーまたは増幅器につないで聞きたいとき

（5） 別のスピーカーから音を出したいときは，ラジオコードのプラグを「EXT. SP.」ジャックにさしこみ，他方のはしのクリップでスピーカーのムービングコイルを挾んでください。この場合，もし，スピーカーに出力トランスがついているときは，トランスからムービングコイルへの接続線は外しておかなくてはなりません。また，テープコーダーのスピーカーは切れて，音を出さなくなります。

（6） ほかの増幅器につないでもっと強力な出力が欲しいときは，ラジオコードのプラグを「LINE OUT」ジャックにさしこみ，他方のはしのクリップで増幅器の入力端子を挾んでください。増幅器の入力端子がマイクロホン用（LOW-LEVEL）とピックアップ用（HIGH-LEVEL）とあるときはピックアップ用の端子のほうが適当です。なお，黒色クリップは必ずアース側につないでださい。

急停止と早送り

（1） 録音中または再生中に走っているテープを急に止めたいときは，急停止レバー⑱を左に寄せればテープは直ちに停止いたします。会議や座談会などで不必要な話を録音しないでとばしたいときなどに利用すると効果的です。

（2） 急停止レバー⑱を右を戻せばテープは直ちに走り出します。これを利用すると，ラジオなどアナウンスの部分を省いて録音することができます。即ち急停止レバー⑱を左に寄せたまま切換器つまみ⑦を「FORWARD」にまわし，必要なときにレバー⑱を右に戻せば，その瞬間より録音または再生ができます。

ソニーフットスイッチ

（3） ソニー　フットスイッチをお使いになりますと，両手でほかの仕事をしながら，片足でテープを止めたり走らせたり自由にできますから，録音をもとにして原稿や議事録をお作りになるときに大変にご便利です。

（4） 1巻のテープを途中からお聞きになりたいときは，早送りレバー⑧を矢印の方向に押しつけながら，切換器つまみ⑦を「FORWARD」にまわしますと，テープは急速に右の巻取りリールに巻きとられますから，再生したいところの手前で「STOP」にまわしてテープを止め，いまいちど「FORWARD」にまわせば迅速に再生を始めることができます。

（5） 再生の途中で一部とばしたいときは，そのまま，つまり切換器つまみを「FORWARD」においたまま，早送りレバー⑧を「カチリ」と音のするまで押しあげれば，テープは急速に右の巻取りリールに巻きとられますから，再生したい場所の手前で切換器つまみ⑦を「STOP」にまわして，いったんテープを止めたのち，もういちど「FORWARD」に切り換えれば，再生を続けることができます。

ご注意：いずれの場合でも，早送り動作に入ってのちは，早送りレバーから手を離してさしつかえございません。また早送り中は急停止レバーはききません。

「早送り」とか「REWIND」でテープを急速に巻きとりますと，「STOP」した場合にテープが途中でたるむことがありますが，そのようなときにはどちらかのリールをまわしてテープをぴんと張ってから「FORWARD」に切り換えませんと，テープが走りだすはずみに切れることがありますから，ご注意ください。

お使いになるとき気をつけていただきたいこと

（1） テープコーダーは，電気と機械との高度の技術の綜合によってできている精巧な機械です。つぎにかかげるご使用上の注意事項にご留意の上，可愛がって使っていただければ，長く皆様のお役に立つことと存じます。

1. 砂塵の多いところで使用しないこと。
2. 特に高温の場所（たとえば真夏の炎天下等）では使用しないことですが，室内であれば 40°C くらいまでは差しつかえありません。
3. マイクロホンのお取扱いには十分ご注意ください。強力な磁石をもっておりますから，針などのような鉄を近づけないよう，また落したりしますと音質不良や感度不良のもとになります。
4. 本機は，水平または水平に近い状態で使うように設計されていますから，立てて使うことはお避けください。(30° くらいまで傾けて使うことは差しつかえありません)

（2） 次のような場合は動作が不確実になることがあります。

1. 電圧低下の場合

電灯線の電圧が 90V 以下に低下いたしますと，音量が低下し，かつ動作，殊に巻戻しが不確実になることがあります。この場合には定格 100W 以上のオートトランス（電圧調整器）をお使いくださって，電源電圧を 90V 以上にあげれば，気持ちよく動作いたします。

2. 極寒冷時の場合

寒冷な場所に放置してあったテープコーダーを急に暖い部屋に持ちこんで働かせようとしますと，動作が不確実になることがあります。これは，急激な温度変化のために，回転部分の表面に水滴が凝結するからです。「FORWARD」にしてテープをかけずに空転させれば 10 分以内で正常に復します。できれば，使用する 1 時間以上前にその部屋に持ちこんでおけば，そのような事故の惧れはありません。

（3） お使いになりますときは，毎回「お手入れのしかた」で説明いたしますように，ガーゼのような軟かい布（四塩化炭素，トリクレン，またはベンジンを浸ませればなおよろしい）でヘッドのテープが当る面をよく拭いてください。

お使いになったあと、あるいはしまっておくときに守っていただきたいこと

（1） しまうときは，切換器つまみ⑦を必ず「STOP」の位置にしてください。

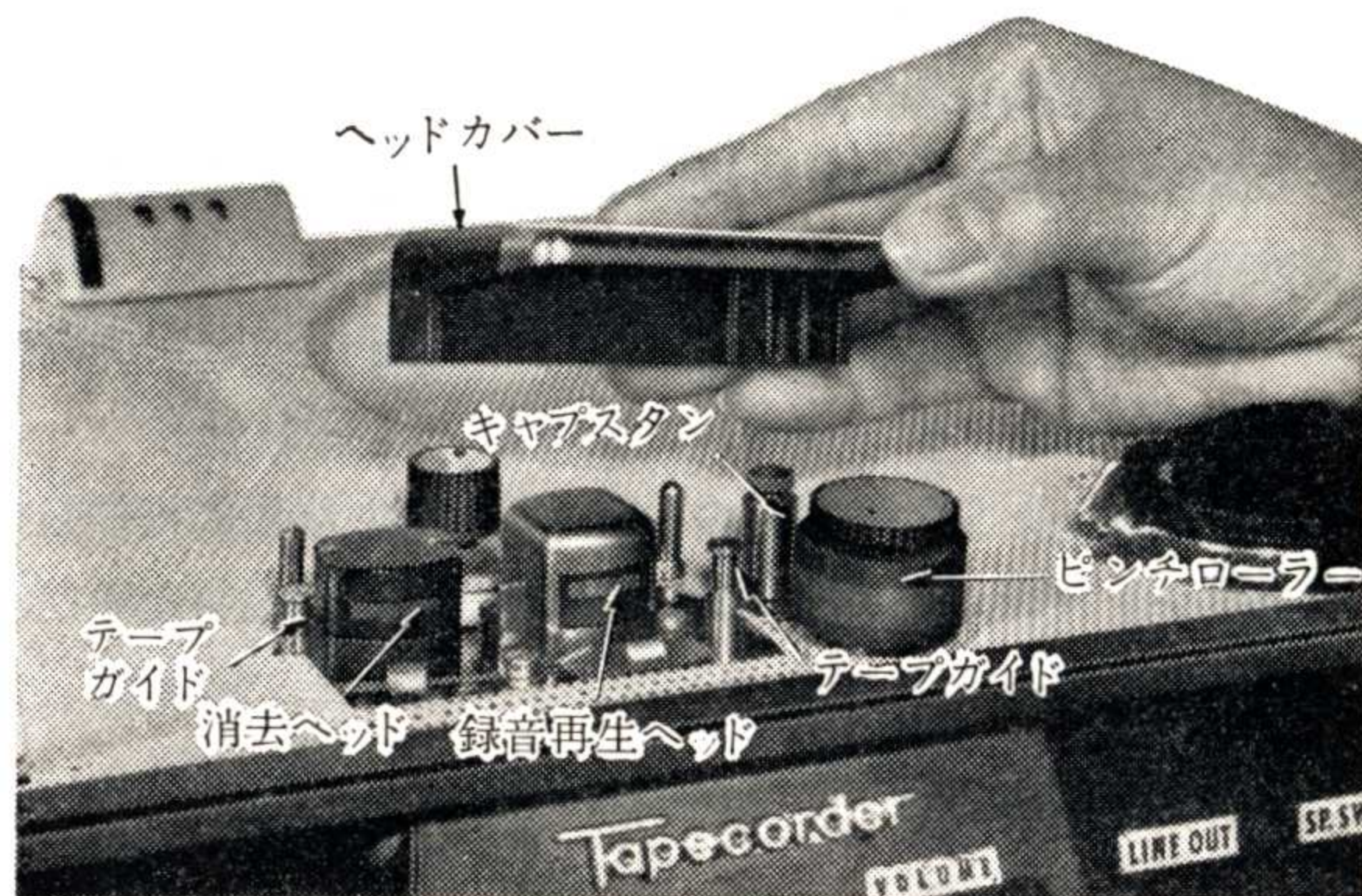
ご注意：「STOP」以外の位置で長いあいだ放っておきますと故障の原因になります。

また，電源スイッチは，音量調整つまみ⑫を反時計方向へまわしきって，必ず切っておいてください。

（2） 使わないときは風通しのよい，乾燥した場所に格納してください。（段ボール箱に入れておくことは，湿気を呼び，適当でありません）

お　手　入　れ

(1)　ヘッド，テープガイド，キャプスタン，ピンチローラーなどのテープが接触する面は，いつも，お使いになるまえに必ずきれいに拭いてください。これらは，磁気テープの粉や接着テープの粘着物などがたまりやすく，その結果テープがヘッドに密着しないで音質不良や音量不足や消去不良を引きおこします。また，テープがスリップして速度ムラを生じると，聞きぐるしくなるなどの故障を生じます。

ヘッドカバーをまっすぐ上に引っぱってはずし，ガーゼのような軟い布でヘッドのテープが当る面をていねいに拭きます。つづいてキャプスタン，ピンチローラー，テープガイドの順に拭いてください。汚れが落ちにくいときは，布に四塩化炭素，トリクレン，またはベンジンを浸ませて拭くとよく落ちます。

ご注意：ヘッドのテープが当る面には鋼製のドライバーやピンセットや磁石の類を触れないようにしてください。

(2)　内部の機構のゴム面もときどき拭いてください。これらは，長いあいだには塵埃やゴムの摩耗した屑や浸み出た油などがついて，スリップなど動作不良の原因となります。

清掃するにはパネルをはずさなければなりませんが，パネルは次のようにしてはずしてください。

1.　切換器つまみと早送りレバーを取りはずす。
2.　ピンチローラーを取りはずす――フェルトをなくさないように気をつけてください。
3.　テープ速度切換つまみを取りはずす。
4.　急停止レバーのつまみを取りはずす。
5.　パネルの止ネジ4本を緩めて取り去り，パネルを静かに持ちあげる。
6.　ガーゼのような軟い布に四塩化炭素，トリクレンあるいはベンジンを浸ませ，まわしながら拭くと汚れがよく落ちます。

(3)　モーターの冷却ファンにより長いあいだにはケースの内部にはかなりの塵埃がたまりますが，これらの塵埃は故障のもとになりますから，1年に1〜2回は機械を取り出して掃除してください。

機械をケースから取り出すには，まず，ケースの底と前面の大きな止ネジを緩めて取り去ってから，上に記した(2)の手順にしたがってパネルをはずせば，そっくり引きだすことができます。

(4)　注油は，(A) キャプスタン軸受，(B) ピンチローラー，(C) アイドラー（2コ），(D) リール軸（2コ）の6カ所ですが，25頁の図解の要領で行ってください。

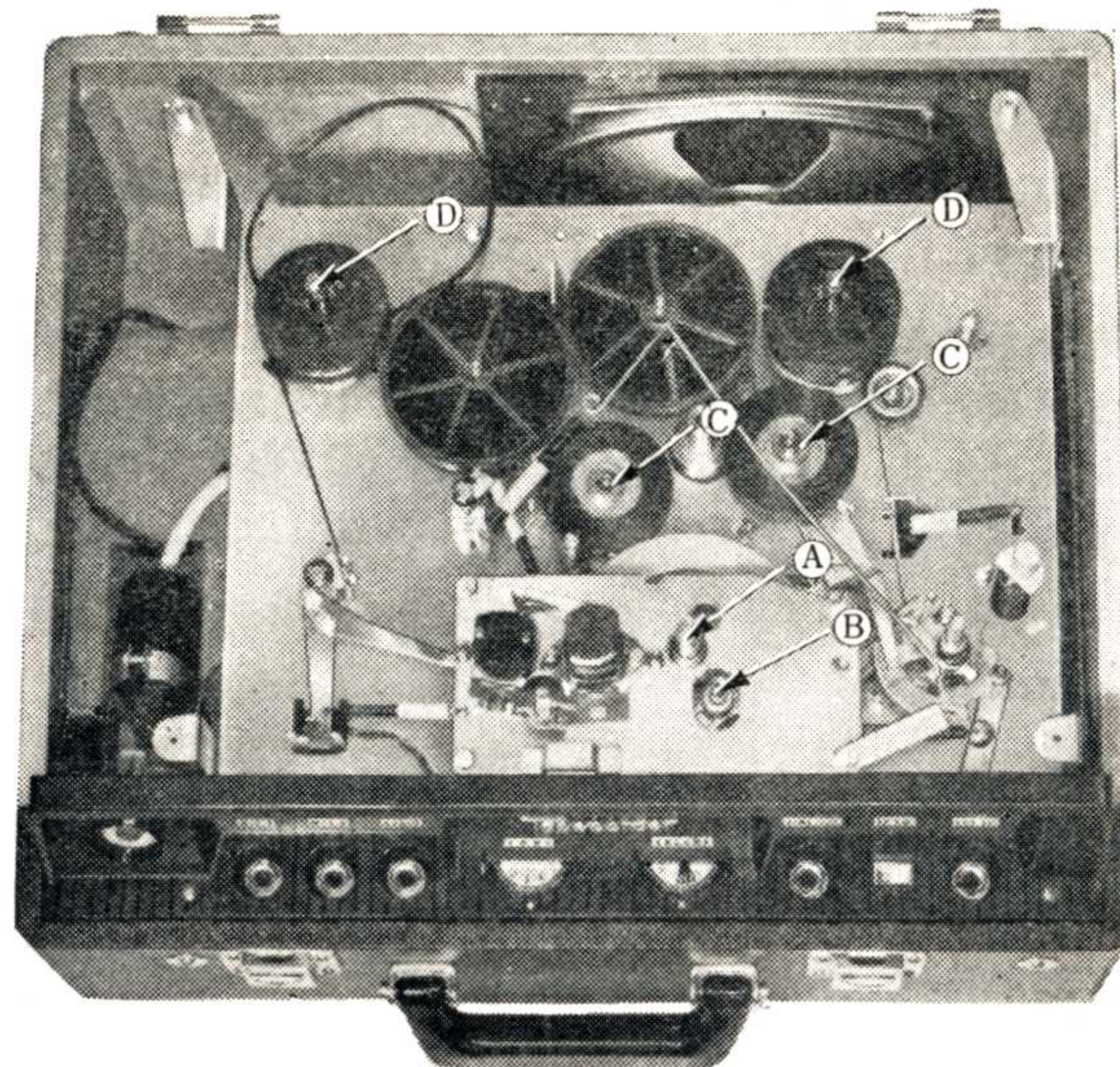
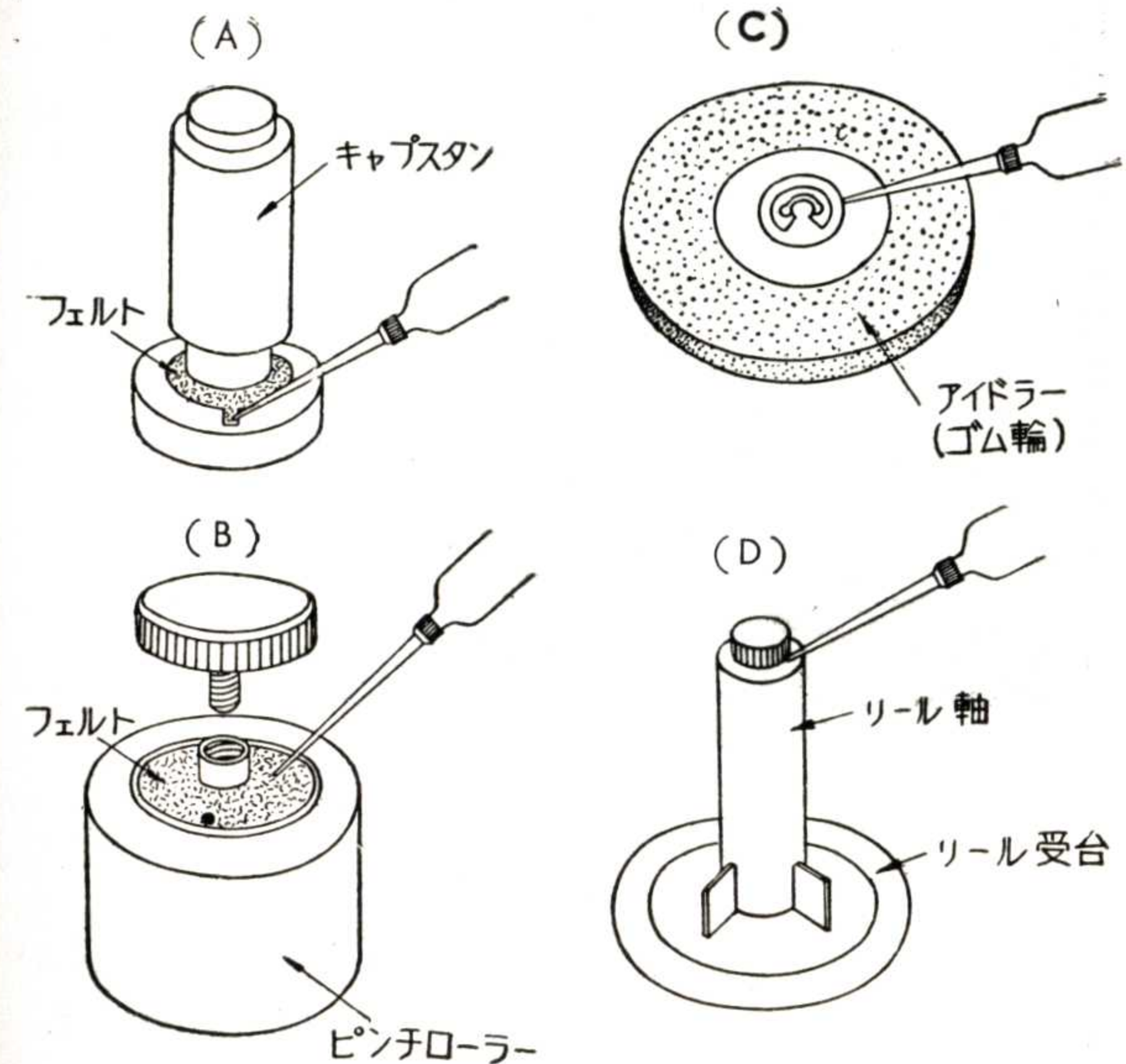
油は，お買上げ店かお近くのソニー連盟店で「ソニーテープコーダーオイル」(ヘビーとライトの2瓶入り￥250)をお買い求めのうえご使用ください。適当な注油の回数と分量は

Ⓐキャプスタン：ご使用500時間ごとにヘビーを2滴
Ⓑピンチローラー：ご使用1000時間ごとにライトを2滴
Ⓒアイドラー：ご使用300時間ごとにヘビーを1滴
Ⓓルール軸：ご使用300時間ごとにライトを1滴

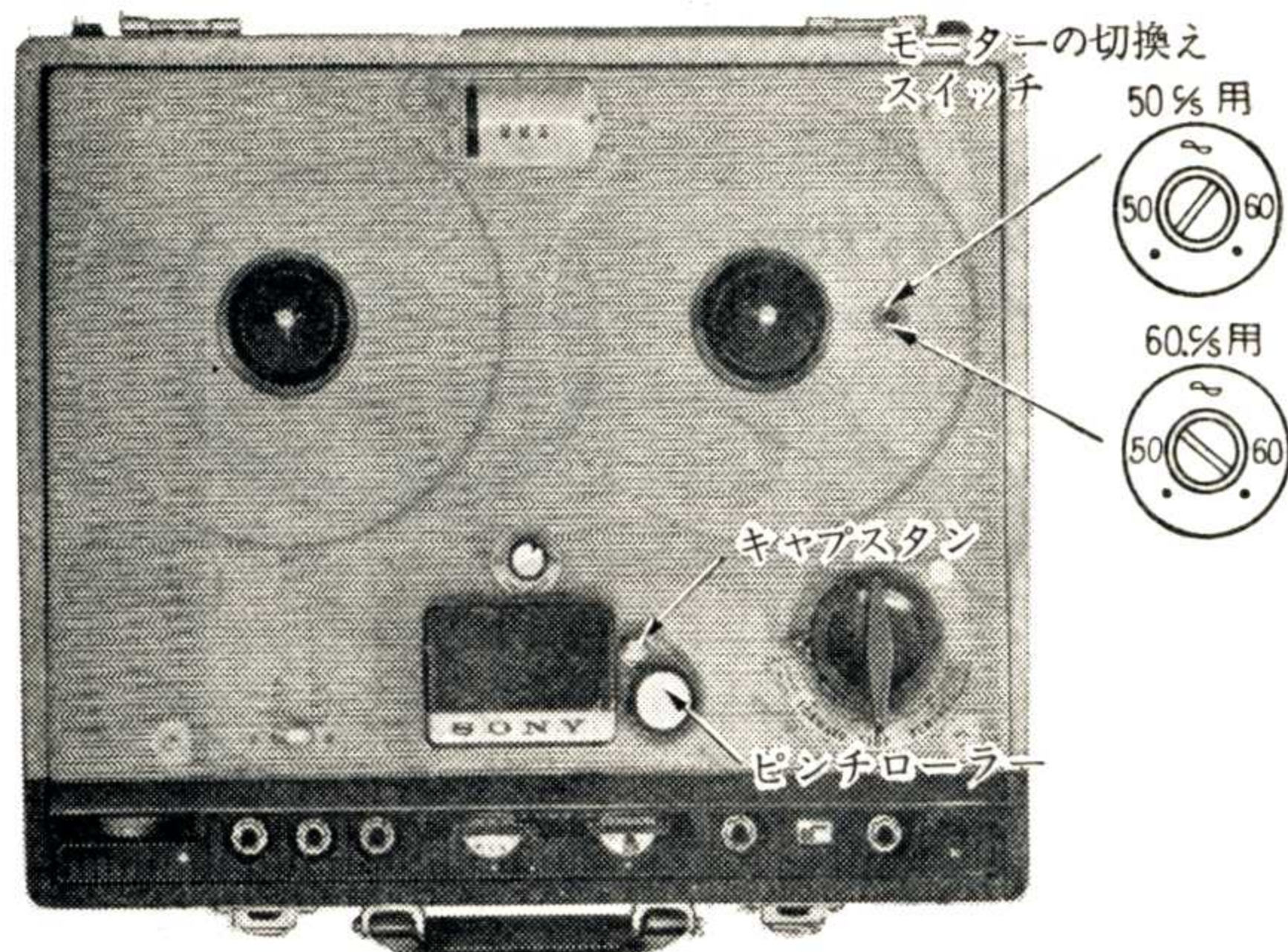
油は，1回にたくさんさすより，すこしずつ回数を多くさすほうが好ましいです。

ご注意：

1. 油はさしすぎないこと。油をさしすぎますと，余分の油が飛び散ってゴムにつき，スリップの原因となります。

〔注油個所〕

〔注油の要領〕

ご注意：注油には「ソニー　テープコーダー　オイル」に付属の注射器をご利用ください。

2. 指定の油が入手できないときは，「ヘビー」の代りにはスタンダード石油会社の Gg. D.T.E. Heavy Medium かダイナモ油か機械油(マシンオイル)の軽いもの，また「ライト」の代りにはスタンダード石油会社の Gg. D.T.E. Light か家庭用ミシン油をお使いください。

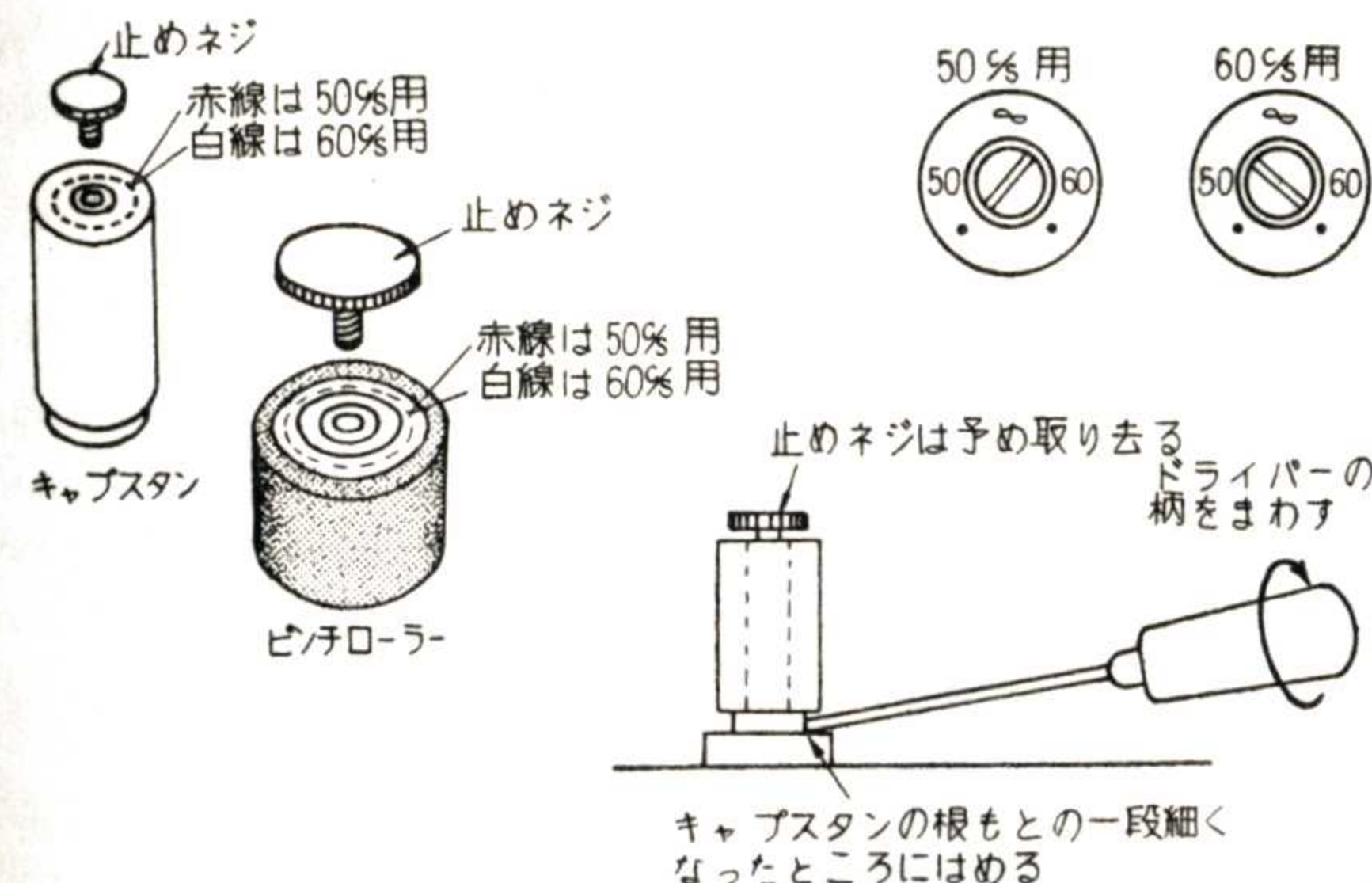
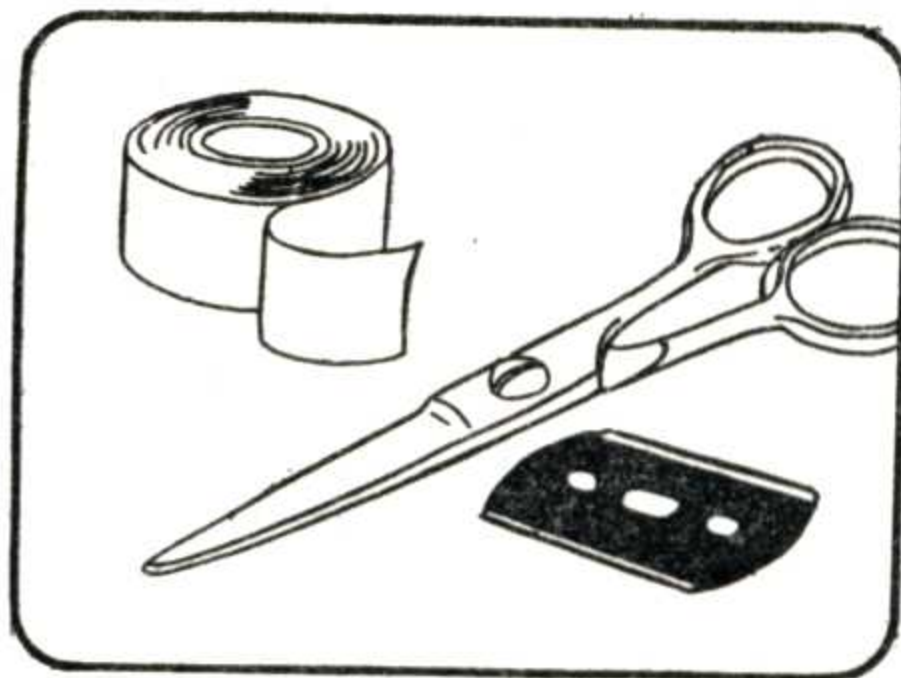
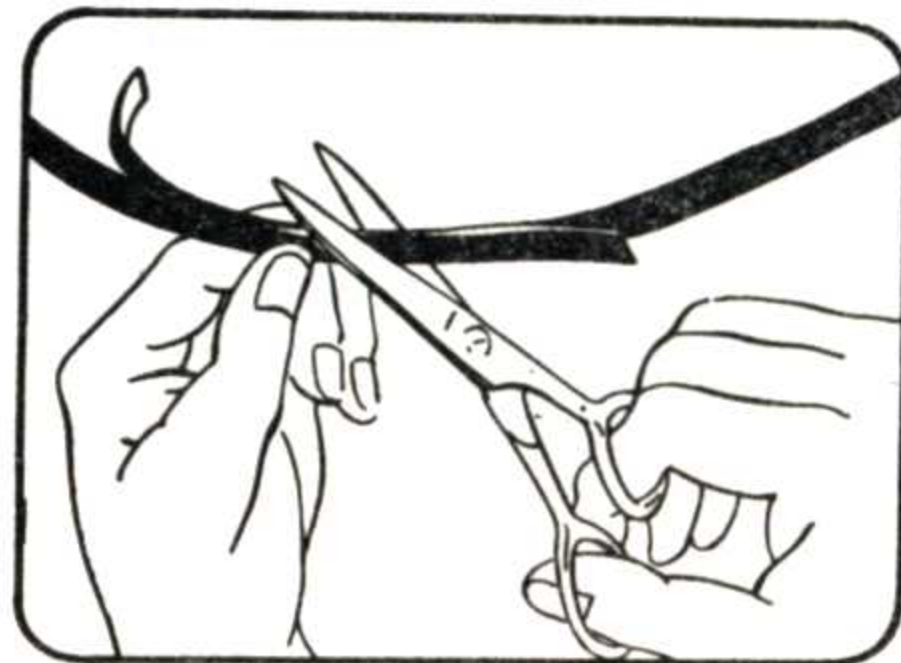
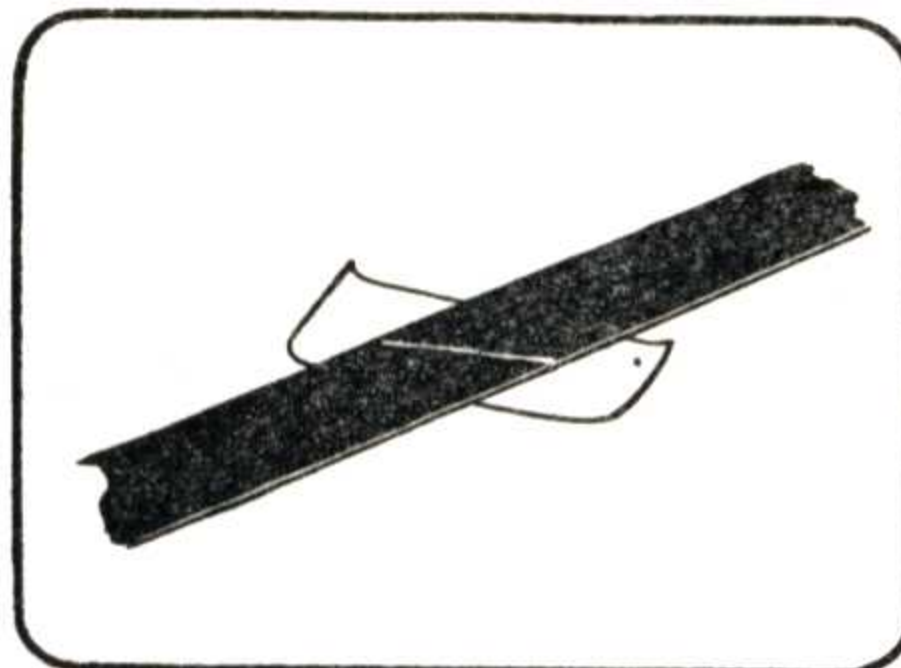
(5) モーターは，相当長期のあいだ，注油の必要はございません。この注油は技術を要しますから，なにとぞ，ソニー連盟店にお命じください。

電源周波数が異なるときは

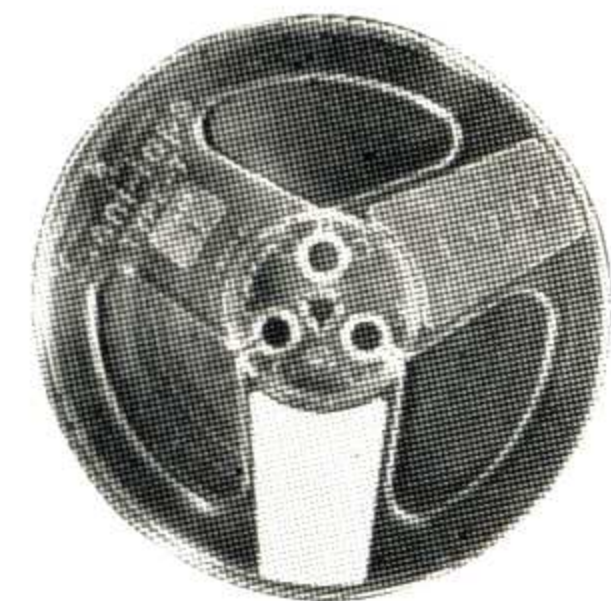
（1） 50c/s（サイクル）用のものを60c/sのところで，あるいは60c/s用のものを50c/sのところでお使いになる場合には，キャプスタンとピンチローラーを取り換えなければなりません。キャプスタンとピンチローラーは50c/sのところ（主として関東以北）では赤線入りを，60c/sのところ（主として中部以西）では白線入りをお使い下さい。これを間違えますとテープが規定の速さで走りません。電灯線の周波数がはっきりしないときは，電力会社かラジオ店でお尋ねくだされば判ります。

キャプスタンは，止ネジを取りはずし，つぎの図のようにドライバーのさきでこじあげると容易にとれます。このときキャプスタンの表面をきずつけないようにご注意ください。

キャプスタンのはまり方が固くない場合は，まず止ネジを取りはずし，つぎにテープをかけないで「FORWARD」にして機械をまわしながらピンチローラーを指さきで強く握って回転を止めますと，キャプスタンが緩んで取ることができます。ピンチローラーは頭のネジをはずせば直ぐにとれます。その際，ネジとローラーの間のフェルトをなくさないように気をつけてください。

（2） テープコーダー361型のモーターは，ヒステリシス型といって，電圧が変っても回転数に影響なく，したがってテープの速さはいつも正確に保たれるのが特長です。そのかわり電源周波数によりスイッチを切り換えていただかなければなりません。電源周波数にあわないままでお使いになりますとモーターを傷めます。

右側の巻取りリールをはずしますと，リール軸のすぐ右脇に切換え用スイッチの小孔がありますから，割れ目にドライバーをあて，左にまわせば60サイクル，右にまわせば50サイクル用となります。

ソニテープのつなぎ方

（Ｉ） **用意**　接着テープと鋏または安全剃刀などを用意します。これらの刃は磁化していない方が望ましいです。

（Ⅱ） **テープ切断**　接続したいテープの両端を正しく重ねて斜めに切ります。

（Ⅲ） **裏打ち**　斜めに切った両テープの先端をつき合せて裏側（磁気物質の塗ってない側）から接着テープで裏打ちします。このとき爪などで十分にこすりつけておくことがたいせつです。

（Ⅳ） **切り落し**　ソニテープの両側のふちに沿って，ソニテープのふちをやや切りこむくらいに，接着テープのいらない部分を切り落します。これでソニテープは完全につながれました。

ソ　ニ　テープ

ソニテープは，わが国ではじめて作られた磁気録音用テープで，品質は米国の２大製品たるオージオ・テープ及びスコッチ・テープに劣らないものであります。

ソ　ニ　テ　ー　プ

材　質	商品番号	長　さ	秒速7.5吋の録音時間	使用リール	定価（円）	電略
プラスチックベース	ソニテープPY-11	2400呎	60分	R-11	3,200	テタ
	PY- 7	1200〃	30〃	R- 7	1,400	テレ
	PY- 5	600〃	15〃	R- 5	750	テソ
	PY- 3	200〃	5〃	R- 3	300	テチ

リ　ー　ル

商品番号	直径（吋）	巻取可能時間 秒速 /.5 吋	材　質	規　格	定価（円）	電略
リール　R-11	10.5	60分(2400呎)	ジュラルミン	NA-R.T.B	900	リロ
R-10	10	60〃(2400〃)	〃	準RTMA	800	リイ
R- 7	7	30〃(1200〃)	プラスチック	RTMA	250	リホ
R- 5	5	15〃(600〃)	〃	RTMA	130	リヘ
R- 3	3	5〃(200〃)	〃	準RTMA	90	リヌ
赤色リール　R- 7 赤	7	30〃(1200〃)	〃	RTMA	250	リト
赤色リール　R- 5 赤	5	15〃(600〃)	〃	RTMA	130	リチ

SONY

製造	ソニー株式会社	
発売	ソニー商事株式会社	
東京支店	東京都中央区銀座西８丁目６	電話東京(57)5191番(代表)
大阪支店	大阪市南区鰻谷仲之町17の６	電話大阪(26)7176〜9番
名古屋支店	名古屋市中区広小路通４-17（東ビル）	電話名古屋(23) 2689番 2690番
福岡支店	福岡市下西町２番地（明治屋ビル）	電話福岡（3） 0124番
札幌営業所	札幌市大通り西５丁目11（大五ビル）	電話札幌（2） 2612番
広島営業所	広島市幟町26番地	電話広島（2） 0480番
仙台営業所	仙台市光善寺通４番地	電話仙台（3） 0892番

58-10-H

テープコーダー

361型

御取扱説明書

ご使用前に必ずお読みください

SONY ソニーテープコーダー 規格表

（33. 10. 10. 現在）

型名		202	261	361	482	503	552	901	GT－6	M－4	BABYCORDER SA－2A
型式		携帯型	携帯型	携帯型	携帯型	携帯型	携帯型	携行型	卓上据置型	取材用携行型	取材用携行型
寸法（横×高×奥行）mm		420×200×335	380×190×295	430×200×380	430×230×450	455×225×350	485×245×440	220×75×150	675×340×480	380×160×165	150×190×60
重量 kg		12.3	10	14	18.5	15	22	2.2	35	8.5	2
録音方式		半幅	半幅	半幅	半幅	半幅	2トラック（ステレオ） 半幅（シングル）	半幅	全幅	全幅	半幅
周波数範囲	1 7/8 吋/秒	—	—	—	—	—	—	200～2,000c/s	—	—	200～3,000c/s
	3 3/4 吋/秒	200～4,000c/s	100～7,000c/s	50～7,000c/s	50～7,000c/s	50～7,000c/s	100～6,000c/s	200～4,000c/s	—	—	200～5,000c/s
	7 1/2 吋/秒	150～7,000c/s	100～10,000c/s	50～10,000c/s	50～10,000c/s	50～10,000c/s	70～10,000c/s	—	50～10,000c/s	100～5,000c/s	—
録音入力	マイク	1コ 10KΩ	1コ 10KΩ	2コ 10KΩ	1コ 10KΩ	2コ 10KΩ	1コ×2チャンネル 10KΩ	1コ高インピーダンス	1コ 10KΩ	1コ高インピーダンス	1コ
	ラジオ	1コ 500KΩ	1コ 500KΩ	1コ 500KΩ	1コ 500KΩ	1コ 500KΩ	1コ×2チャンネル 100KΩ	—	1コ 500KΩ	—	—
再生出力	スピーカー	4″×6″ダイナミック 0.8W	4″×6″ダイナミック 2W	5″×7″ダイナミック 2W	5″×7″ダイナミック 2W	5″×7″ダイナミック 3W	2W×2チャンネル 4″×6″ダイナミック(1)	クリスタルイヤホン	6½吋ダイナミック 2W	クリスタルイヤモン	クリスタルイヤホン
	ライン	3.2Ω	8Ω	600Ω 0dbm	600Ω 0dbm	600Ω 1V	3-6-15Ω	—	600Ω 平衡型0dbm	—	約2KΩ 0.014V
テープ速度と録音時間	1 7/8 吋/秒	—	—	—	—	—	—	40分	—	—	60分
	3 3/4 吋/秒	120分	120分	120分	120分	120分	（ステレオ）60分 （半幅）120分	20分	120分	—	30分
	7 1/2 吋/秒	60分	60分	60分	60分	60分	（ステレオ）30分 （半幅）60分	—	60分	15分	—
	15 吋/秒	—	—	—	—	—	—	—	* 30分	—	—
テープ速度		2速度切換	2速度切換	2速度切換	2速度切換	2速度切換	2速度切換	2速度切換	GT-6A型 2速度 GT-6B型* 3速度	1速度	1速度
モニター		—	クリスタルイヤホン	スピーカーまたはイヤホン	スピーカーまたはイヤホン	スピーカーまたはイヤホン	ステレオ イヤホン	クリスタルイヤホン	両耳受話器	クリスタルイヤホン	クリスタルイヤホン
早送り時間		—	—	—	4分以内	—	—	—	3分以内	—	手巻き
巻戻し時間		—	—	—	3.5分以内	—	—	—	3分以内	手巻き	手巻き
使用リール		最大7吋RETMA	最大7吋RETMA	最大7吋RETMA	最大7吋RETMA	最大7吋RETMA	最大7吋RETMA	最大3吋RETMA	最大10½吋NARTB または7吋RETMA	最大5吋RETMA	KM-4型 マガジン
ヘッド数		録音再生，消去の2コ	録音再生，消去の2コ	録音再生，消去の2コ	録音再生，消去の2コ	録音再生，消去の2コ	録音再生：2チャンネル，スタックド(1) 消去：2チャンネル，スタックド(1)	録音再生，消去の2コ	録音，再生，消去の3コ	録音再生の1コ	録音再生，消去の2コ
モーター数		1コ	1コ	1コ	1コ	1コ	1コ	マイクロモーター(1)	3コ	スプリングモーター	マイクロモーター(1)
電源		50～60c/s 85～110V 60W	50～60c/s 85～105V 50W	50～60c/s 85～105V×90VA	50～60c/s 85～105V×80VA	50～60c/s 85～110V 100W	50～60c/s 85～110V 140W	BL-R006もしくは BL-M106（3コ）	50～60c/s 電源電圧調整可能 85～110V 170W	特単1号型乾電池 3コ BL-145型積層乾電池 2コ	モーター用 単3号乾電池6コ 増幅器用 単3号乾電池4コ
真空管		6AU6(2) 6AR5(1) 6X4(1)	12AX7(1)6BM8(1)6X4(1) 6DA5(1) 1T22G(2)	12AX7(1)6BM8(1) 6AR5(1)6CA4(1)6E5(1)	12AX7(1)6BM8(1) 6AR5(1)6CA4(1)	6AU6(2) 5GK4(1)12AU7(1) 6E5(1) 6AR5(2)	6AU6(2)12AU7(2)6AQ5(2) 6E5M(2)6AQ5(1)5GK4(1)	2T6(3) 2T8(1)	6AU6(3) 5GK4(1) 6V6(1)	1U4(3)	2T65(6) 2T63 または2T65(2)
マイクロホン		F-5型ダイナミック	F-5型ダイナミック	F-3B型ダイナミック	F-3B型ダイナミック	F-3B型ダイナミック	F-3B型ダイナミック(2)	クリスタル型	F-3B型ダイナミック	クリスタル型	FP-2型ダイナミック
録音レベル指示		ネオンランプ	マジックアイ	マジックアイ	メーター	マジックアイ	マジックアイ	なし	メーター	なし	マジックアイ

（高級特殊機は別に仕様書等が用意してありますのでご照会下さい。）

ソニー株式会社　ソニー商事株式会社

（裏はソニー製品価格表）

SONY　製品価格表

品名		数量	価格	備考	電略
テープコーダー	202型	1 台	38,000円	付属品とも	ホユ
〃	261型	〃	38,000	〃	ホコ
〃	361型	〃	48,800	テープタイマー付	ホケ
〃	503型	〃	69,000	〃	ホア
〃	552型	〃	118,000	ステレオ	ホセ
〃	592型	〃	90,000	552型のシャーシーのみ	ホス
〃	M-4型	〃	120,000		ロヨ
〃	GT-6型	〃	196,000		ロイ
〃	KP-3型	〃	380,000		ロフ
〃	CP-1型	〃	530,000		ホチ
〃	BS-3M型	〃	680,000		ホラ
エイトコーダー	482型	〃	58,000	8ミリ,16ミリシネシンクロ装置(F.T.S.)付	ヘエ
ベビーコーダー	SA-2A 型	〃	120,000	$1\frac{7}{8}$ 吋/秒	ホト
		〃	〃	$3\frac{3}{4}$ 吋/秒	ホヘ
テープコーダーベビー	901型	〃	48,000		ヘフ
ベビーコーダー用アクセサリー					
モニター増巾器	MA-265型	1 個	12,000	全トランジスタ式 2.5吋スピーカー付、単3号電池4個使用	ノイ
GT-6型用マガジンアダプタ取付台		〃	700	GT-6型斜面パネル取付	ノヌ
標準マガジンアダプター	SMA-1 型	〃	7,800	テープコーダーL-20、503、202、303に取付ベビコーダーマガジンを装着して再生(又は録音)を行うもの、テープの巻戻し、早巻取りも可能	ノロ
簡易マガジンアダプター	SMA-2 型	〃	1,300	SMA-1型と同じ目的に使用巻戻し、早巻取出来ないもの	ノホ
中継用コネクター	SCN-1型	1 本	200	コードの延長用に使用	ノヘ
マイクコード(5m)	SEC-5型	1 〃	750		ノト
モニター用電池ケース	SSB-9型	1 個	1,700	単一号乾電池6コを収容9Vを得るもの	ノチ
ステレオスピーカー	SS-6型	1 組	12,000	$6\frac{1}{2}$吋ダイナミックスピーカー付	ムト
ソニ・テープ	PY-11	1 巻	3,200	プラスチックベース 2,400呎	テタ
〃	PY-7	〃	1,400	1,200呎	テレ
〃	PY-5	〃	750	600呎	テソ
〃	PY-3	〃	300	200呎	テチ
〃	PYB-500	〃	1,100	エンドレスリール用	テユ
接着テープ		1 巻	60	ソニ・テープ接続用	セテ
ベビーコーダー用マガジン	KM-4型	1 個	4,500		テウ
ソニーリール	R-11	1 個	900	ジュラルミン製 2,400呎用	リロ
〃	R-10	〃	800	〃 〃	リイ

品名		数量	価格	備考	電略
ソニーリール	R-7	1 個	250円	プラスチック製 1,200呎用	リホ
〃	R-5	〃	130	〃 600呎用	リヘ
〃	R-3	〃	90	〃 200呎用	リヌ
赤色リール	R-7赤	〃	250	〃(赤色) 1,200呎用	リト
〃	R-5赤	〃	130	〃(赤色) 600呎用	リチ
エクステンションデッキ	ED-7型	1 個	3,300	300型で5吋のリール使用可能	イレ
モノプリンター	MP-1型	1 個	6,550	録音機1台でテープの複写可能	イワ
マイクロホン	F-5型	1 個	4,000	ダイナミック型 10KΩ	マワ
〃	F-3B型	〃	6,000	〃 〃	マイ
〃	F-3B-600型	〃	6,500	〃 600Ω	マロ
〃	FP-2型	〃	6,000	高級ダイナミック型	マケ
〃	FP-1型	〃	18,000	〃	マト
〃	F-600A型	〃	23,000	〃	マカ
〃	C-16A型	〃	57,000	放送用コンデンサー型	マア
〃	C-19B型	〃	63,000	〃	マツ
〃	C-37A型	〃	80,000	〃	マウ
マイクスタンド	C型	1 個	300	F-3B型付属品と同じ	マヌ
〃	A-3型	〃	1,000	卓上型 F-3,F-5用	スリ
〃	A-4型	〃	1,200	C -37A,C-19,FP-1用	スル
ベビーコーダー用マイクロホンスタンド	SP-1型	〃	3,300	FP-2マイクを保護する卓上用	ノリ
ワイヤレスマイクロホン	CR-2型	1 式	271,000	送信機部、受信機部、マイクロホン共	ママ
無線マイク	CR-3型	1 式	41,000	送信機部、受信機部、マイクロホン共	ケト
テープ消磁器	BE-5型	1 個	7,000	不用録音の瞬時完全消去用	イシ
フットスイッチ	FS-1R型	1 個	2,500	P型，300型用	テナ
〃	FS-2 型	〃	2,500	400型，500型用，361型用，482型用	テラ
電話用ピックアップ	TP-3型	1 個	1,300	電話録音用	ヒヤ
両耳受話器		1 個	1,000	ユニアンプ用， 4kΩ	フス
マイクミキサー	TM-10K型	1 個	5,500	10KΩ3コ用	セト
〃	TM-600 型	〃	6,500	600Ω3コ用	セリ
〃	S2-A型	〃	1,300	2コ切換型	セチ
延長コード	EC-25A	1 本	2,500	25m 接続用プラグ，ジャック付マイクとスピーカーに使用可能	コサ
〃	EC-10A	〃	1,200	10m 〃	コキ
〃	EC-5A	〃	780	5m 〃	コユ
ムービーシンク	MS型	1 個	1,400	8mm，16mm兼用	イナ
振動式インバーター	JC-4型	1 個	15,000	入力 12V 出力 100V 50c/s用	イカ
				60c/s用	イヨ

品名		数量	価格	備考	電略
オートトランス	VR-120型	1 個	2,000	120VA	イオ
オートスライド	AS-2型	1 式	49,000	付属品とも	スロ
〃	TV-1型	〃	73,000	〃 (標準価格)	スヘ
エンドレスリール	RE-2型	1 個	3,800	$7\frac{1}{2}$ 吋/秒で7.5分間以内	テノ
ソニーラジオ	TR-63	1 台	13,800	6石・ポケッタブル レモン色 TR-63-L ミドリ色 TR-63-G アカ色 TR-63-R	ラレ ラナ ララ
〃	TR-65	〃	8,800	6石・ポケッタブル 黒色 TR-65-B 赤色 TR-65-R 灰色 TR-65-H	ラセ ムツ ムネ
〃	TR-67	〃	12,300	6石・ポータブル えんじ色 TR-67-M うすみどり色 TR-67-G うすちゃ色 TR-67-V くろ色 TR-67-B	ムイ ムロ ムホ ムヘ
〃	TR-69	〃	11,000	6石・ポケッタブル・ホームラジオ兼用 黒色 TR-69-B 赤色 TR-69-R 青緑色 TR-69-T	ムチ ムレ ムソ
〃	TR-72	〃	16,000	7石・ハンディ型	ラル
〃	TR-74	〃	21,500	7石・ハンディ型 短波受信可能	ラサ
〃	TR-741	〃	19,900	7石・ハンディ型 短波受信可能	ラキ
〃	TR-75	〃	11,300	7石・ポータブル 赤色 TR-75-R 緑色 TR-75-G クリーム色 TR-75-C	ムノ ムク ムヤ
〃	TR-82	〃	23,500	8石・ホームラジオ	ラク
〃	TR-83	〃	13,500	8石・ポータブル 黒色 TR-83-B 濃緑色 TR-83-G 青緑色 TR-83-T	・ ムカ ムヨ ムタ
〃	TR-88	〃	16 500	8石・ポータブル・短波受信可能 黒色 TR-88-B クリーム色 TR-88-C	ムナ ムラ
〃	TRC-64	〃	19,900	6石・ホームラジオ(時計付)	ムト
スピーカーボックス	TBS-1型	1 個	2,000	TR-69用 スピーカーボックス	レチ
ラジオ録音用コード		1 本	250	ソニーラジオ用	コメ
シグナルインジェクター	TS-1型	1 個	1,350	ラジオサービス用	イコ
シグナルトレーサー	TST-1型	〃	3,900	〃	イテ

(裏はテープコーダー規格表)

(33. 10. 10. 現在)

ソニー株式会社　ソニー商事株式会社

郵便はがき

郵便料金
受取人払
大崎局承認
第57号

東京都品川区大崎局区内
北品川六丁目三五一番地

ソニー株式会社
業務部普及課行

切手を貼らずに投函して下さい

処理	ハガキ テガミ サービス	回	調	統	

と　お　な　ふ　ほ　ひ

ご使用者へのお願い

テープコーダー　ご愛用カードについて

テープコーダー のお買上をいただき有がとうございました。

下の返信カードによつて貴方と弊社との将来の御連絡を保ちたいとぞんじます。

お買上カード (1) は直ちにご返送お願いいたします。弊社は折返しソニテープ1巻(3吋巻)を呈上いたします。

ご使用カード (2) は約一カ月間御使用後お気付の点等をまとめてご記入ご報告たまわりたくお願い申し上げます。

尚ご使用前に添付の取扱説明書を一通りごらん下さつてテープコーダーの機能を完全に駆使していただきたく存じます。

今後本機についてご連絡たまわる場合はおわすれなく本機の型名と機番とをあわせお知らせ下さい。

テープコーダー 型名 **361** 型　　機番 第 **15826** 号

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目351番地

型名 **361** 型 機番 第 **15826** 号

検査済証

ソニー株式会社

(2) テープコーダー ご使用者カード 361 型　機番 15826

ご使用になつてのご意見(今後の改良について)			
ご使用例(どんな事にお使いですか)			
ご住所		取扱店名	お買上月日　年　月　日
ご芳名又は団体名			

お買上一ヵ月くらいでご返送下さい。

(1) テープコーダー お買上カード 361 型　機番 15826

お買上下さつた方のご芳名又は団体名		取扱店名	
ご担当者名			
ご職業		お買上月日	
ご住所			
主なご用途			
すでにソニーの テープコーダー をご使用の時には		機種	台数
お買上になつた主な動機	(1) 評判を聞いて (2) 人にすすめられて (3) 取扱店のすすめで	(4) 新聞雑誌の広告を見て(　　) (5) 実際使つているのを見て (6) 必要にせまられて	

すぐご記入の上ご返送下さい。三吋テープを呈上。

ソニ・テープ　定価表

録音テープご補充のためにテープの定価表をお目にかけます。

日常用、音楽用には世界の水準をゆく、ソニ・テープのご使用をお願いいたします。

ソニ・テープ

プラスチツク製リール付	PY—11吋	3,200円
	★ PY—7	1,400
	★ PY—5	750
	★ PY—3	300

（本機には★印のものが適合いたします）

リール（ソニ・テープ用巻枠）

ジユラルミン製	11 吋	R—11	900円
	10	R—10	800
プラスチツク製	7	★ R—7	250
	5	★ R—5	130
	3	★ R—3	90

（本機には★印のものが適合いたします）

郵便はがき

東京都品川区大崎局区内
北品川六丁目三五一番地

ソニー株式会社
業務部普及課行

郵便料金
受取人払
大崎局承認
第57号

切手を貼らずに投函して下さい

郵便はがき

東京都品川区大崎局区内
北品川六丁目三五一番地

ソニー株式会社
業務部普及課行

郵便料金
受取人払
大崎局承認
第55号

切手を貼らずに投函して下さい

郵便はがき

郵便料金
受取人払
大崎局承認
第55号

切手を貼らずに投函して下さい

東京都品川区 大崎局区内
北品川六丁目三五一番地

ソニー株式会社

業務部普及課行

処理	ハガキ テガミ サービス	品	台	学	

(203-361)

これは 60 サイクル用です

近畿、中国、四国、中部及び九州の大部はこのまま使えますが、関東、東北、北海道、中部及び九州の一部（電源周波数50**サイクル**の地方）では取扱説明書にしたがい**キャプスタン**と **ピンチローラー** を赤線入りに交換するとともに**モーター**の**スイッチ**を左に切り替えてからお使い下さい。

ソ ニ ー 株 式 会 社